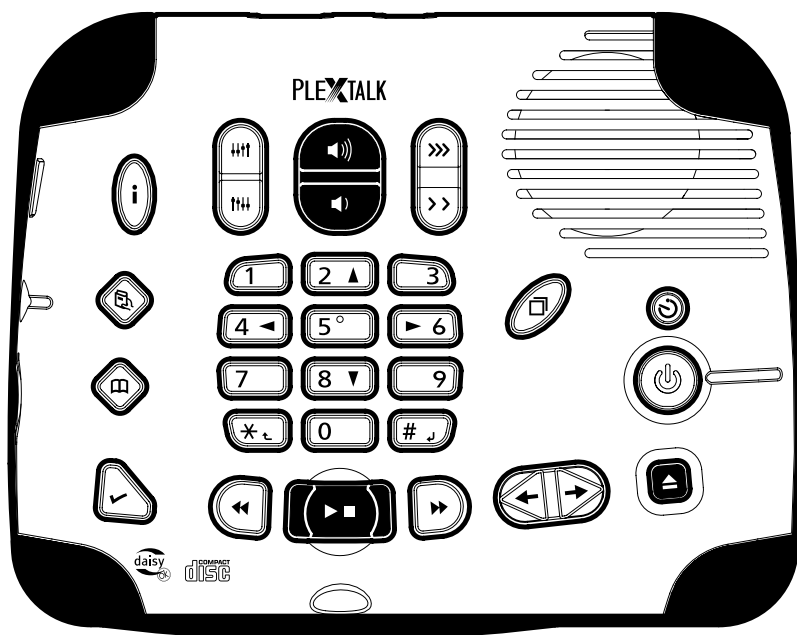
PLEXTALK®

プレクストーク　ＰＴＮ２

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本製品の特徴

１）ＤＡＩＳＹ図書を聞く

ＤＡＩＳＹ（デイジー）は、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために開発されたデジタル録音図書の規格です。ＤＡＩＳＹ図書とは、この規格にそって制作された図書のことを言います。ＤＡＩＳＹ図書は、デジタル録音されたデータに、見出しやページなどの印が付けられており、本製品は、その印によって聞きたい箇所にすばやく移動することができます。

２）音楽を聞く

音楽を、繰り返し再生やシャッフル再生などの再生方法で楽しめます。

３）ＤＡＩＳＹ図書や音楽をバックアップする

ＤＡＩＳＹ図書や音楽ＣＤを、ＳＤカードやＵＳＢ機器に簡単にバックアップすることができます。また、ＳＤカードとＵＳＢ機器の間でも相互にバックアップを行うことができます。

４）便利な機能

さらに、以下のような便利な機能があります。

①音声で本製品の動作を明確に知らせる音声ガイド機能

②設定した時間になると自動的に電源が切れる「お休みタイマー」機能

③再生のスピードを速くしたり遅くしたりする機能

④自由な場所にしるしを付けられる「しおり」機能

目次

安全にお使いいただくために

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告及び注意事項について

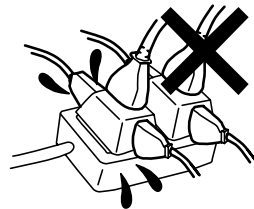
⚠警告 ＜警告＞	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。
⚠注意 ＜注意＞	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う恐れ又は物的損害が発生する恐れがあります。

※以下の警告及び注意事項の中で使われる「本製品」という表現には、ＰＴＮ２本体のみならず、バッテリーや電源アダプターも含まれます。

⚠警告

	煙が出る、異臭がする等の異常がある場合、そのまま使用すると火災、感電、けが等の原因になります。ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。その際、本体またはバッテリーが高温になっている可能性がありますので、火傷しないように十分注意してください。
	万一、バッテリーから液がもれたら、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐに火気より遠ざけ、販売店にご連絡ください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。 バッテリー液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。液が皮膚や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	本製品の隙間から金属物などの異物を入れたり、本製品に水や洗浄液等の液体をこぼしたりしないでください。ショートして火災や感電や故障の原因になり、大変危険です。異物や液体が入ってしまった場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。

⚠警告

分解禁止	分解、修理、改造をしないでください。レーザー光線が放射されたり、火災・感電・故障の原因になり、大変危険です。修理は弊社「お問い合わせ窓口」にご依頼ください。
水ぬれ禁止	お風呂や雨の当たる場所、湿気の多い場所での使用はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
禁止	付属の電源アダプターや電源コード、弊社指定のバッテリー以外は使用しないでください。また、AC100V 50/60Hz 以外の電源では使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。
厳守	電源プラグについたほこりは定期的に清掃してください。その際、電源プラグをコンセントから抜いた後に清掃してください。また、たこあし配線をしないでください。ほこりがたまったり、たこあし配線をしたりすると、火災や感電の原因になります。
厳守	電源プラグを差し込む際は、プラグ本体を持って根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと火災や感電の原因になります。また、電源プラグを抜く際は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ってプラグを抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
禁止	電源アダプター、電源コードを傷つけないでください。重いものを乗せたり、引っ張ったり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟んだり、熱器具を近づけたりするとアダプターやコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
厳守	自動車・バイク・自転車等の乗り物を運転しながら本製品を使用しないでください。交通事故の原因になります。また、歩きながらの使用に際しては、足元や周囲の交通には十分に注意してください。転倒や交通事故の原因になります。
禁止	本製品内部のＣＤ読み取り用の光ピックアップから放射されるレーザー光線は目など人体に有害です。内部をのぞきこまないでください。

⚠警告

禁止	本製品で利用可能なＳＤカードやＵＳＢフラッシュメモリなどの、サイズの小さなメディアは、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲すると健康に悪影響を及ぼします。誤飲した際は、ただちに医師に相談してください。
禁止	本製品やメディアを、埃の多い場所、直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、炎天下の車内等に置かないでください。また、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアドライヤー、その他、熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災や感電、故障の原因になります。
禁止	本製品に対して、たたく、踏みつける、重いものを乗せる、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。また、火の中に入れたり、電子レンジやオーブンなどで加熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
電源プラグを抜け	長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
厳守	本体を廃棄する際は、お住まいの自治体の定める廃棄物分別方法に従って処分してください。バッテリーの廃棄は「充電式電池リサイクル協力店」にご持参して廃棄してください。
厳守	お手入れの際は、電源を切ってください。感電の原因になります。汚れを拭き取る場合は、柔らかい清潔な布をご使用ください。水や洗剤などの液体が本製品にかからないようにご注意ください。液体が本製品にかかると、火災や感電や故障の原因になります。
厳守	本製品を飛行機内で使用する場合は、航空会社の指示に従ってください。

⚠注意

 禁止	本製品は長時間使用すると温かくなることがあります。長時間皮膚の同じ場所に触れていると、熱い・痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがありますので、長時間皮膚の同じ場所に触れないようにしてください。
 禁止	長時間ヘッドホンをご使用になると聴覚へ悪影響を及ぼす恐れがあります。長時間の連続使用は避けてください。
 注意	本製品は傾いた場所や不安定な場所を避け、必ず水平な状態でご使用ください。また、垂直に立てかけたりしないでください。故障の原因になります。
 禁止	８ｃｍＣＤ（シングルＣＤ）は使用しないでください。アダプターを付けても使用できません。また、名刺型などの異形のＣＤは使用しないでください。故障の原因になります。 ラベルやシールを貼ったＣＤは使用しないでください。「ＣＤの取り出しができない」「ＣＤの記録面に傷がつく」「再生ができない」などの故障・不具合の原因になります。
 厳守	ＳＤカードは正しい向きで入れてください。また、出し入れの際、決して無理な力を加えないでください。間違った向きで入れたり、無理な力を加えて出し入れしたりすると故障の原因になります。 本製品のカードスロットはＳＤカードおよびＳＤＨＣカード専用です。それ以外のカードをＳＤカード挿入口に差し込まないでください。故障の原因になります。
 禁止	本製品の中にメディアを入れた状態及び電源アダプターを付けたままでの持ち歩き、移動・運搬はおやめください。故障の原因となります。
 禁止	本製品が動作している際に振動等を与えないでください。データの破損や故障の原因になります。
 厳守	本体のお手入れの際、シンナーやベンジン、アルコールの入った溶剤などを使用しないでください。本製品の表面を痛めてしまいます。
 厳守	本製品には、市販のＣＤレンズクリーナーはご使用にならないでください。

使用許諾

１．本取扱説明書（以下「本書」）はシナノケンシ株式会社の著作物です。したがって、定められた場合を除き、本書の一部または全部を無断で複製・複写・転写・転載・改変することは法律で禁止されています。
２．本書に記載されている内容に関しては、改良のため予告なしに変更することがあります。
３．本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不明な点あるいは不備な点などがありましたら、弊社までご連絡ください。
４．本製品及び付属品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
５．本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
６．本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
７．本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート及びアフターサービス等を行なっておりません。予めご了承ください。

本製品と付属品のライセンスと商標はすべて、弊社その他本製品と付属品の各々の権利者が保持します。

その他の注意事項

電波障害自主規制について

本製品はテストを受けた結果、住宅内での設置による電波障害からの保護を目的として定められたＦＣＣ規格の１５章に従う分類Ｂデジタル装置向けに設けられた規制に合ったものと認定されました。ただし、どのような装置でも電波妨害がまったく生じないという保証はありません。本製品がテレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかは、本製品の電源の ON/OFF を切り替えることで確認できます。本製品が原因の場合は次の方法を試してください。

・受信アンテナの位置、あるいは方向を変える
・本製品と受信機の距離を離す
・本製品と受信機のコンセントを別々にする

バックアップに関する著作権について

本製品によるバックアップは、著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または刑事上の制裁を受ける場合があります。

登録商標について

・ＳＤロゴおよびＳＤＨＣロゴは SD Card Association の登録商標です。
・コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。

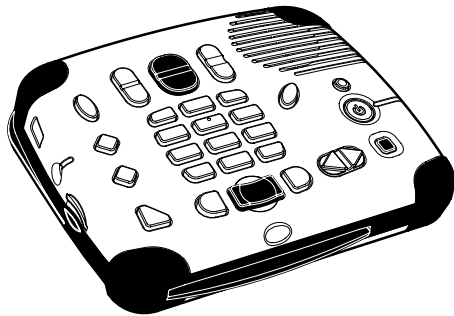
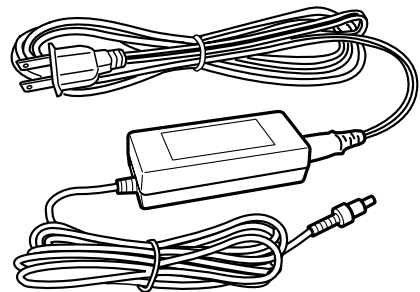
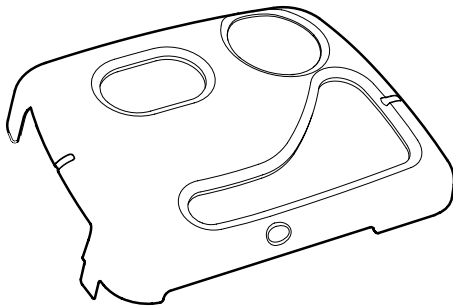
その他

・本書を通して「ＳＤメモリカード」を省略して「ＳＤカード」と表記します。

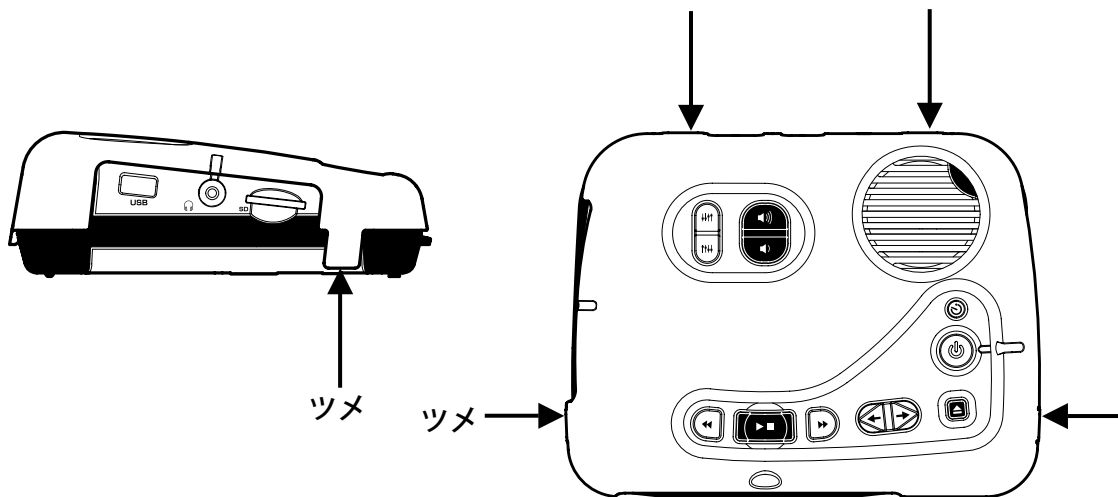
１章　はじめに

１章１　入っているものを確認しましょう

本製品をご使用になる前に、まず以下のものがそろっているかお確かめください。万一不足しているものがありましたら、お手数ですが本製品を購入した販売店までご連絡ください。

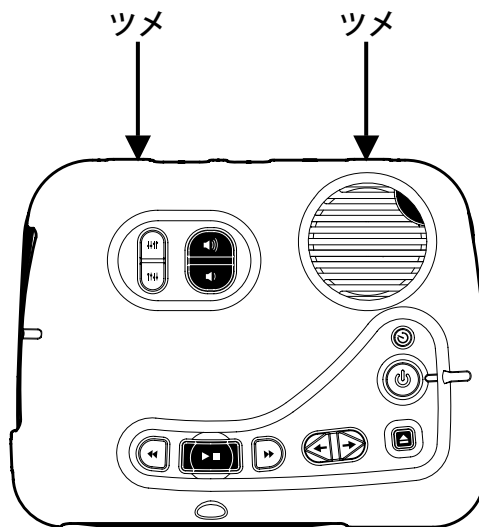
お願い：梱包箱や梱包材は、修理などのために本製品を安全に輸送する際に必要となることがありますので、大切に保管しておいてください。

1章2　簡単カバーについて

ご購入時、本体には簡単カバーが取り付けられています。簡単カバーとは、機能を制限し、必要最低限のキーのみを押せるようにして簡単に使用できるようにするものです。簡単カバー取り付け時に使えるキーは、電源キー、お休みタイマーキー、イジェクトキー、タイトル選択キー、再生停止キー、送りキー、戻しキー、音量キー、トーンキーになります。
ここでは簡単カバーの取り外し方と、取り付け方を説明します。

＜簡単カバーの取り外し方＞

簡単カバーは丸い穴を右上にして本体に装着します。簡単カバーには、右側面手前と左側面手前、背面に２箇所の計４箇所に固定用の「ツメ」があります。

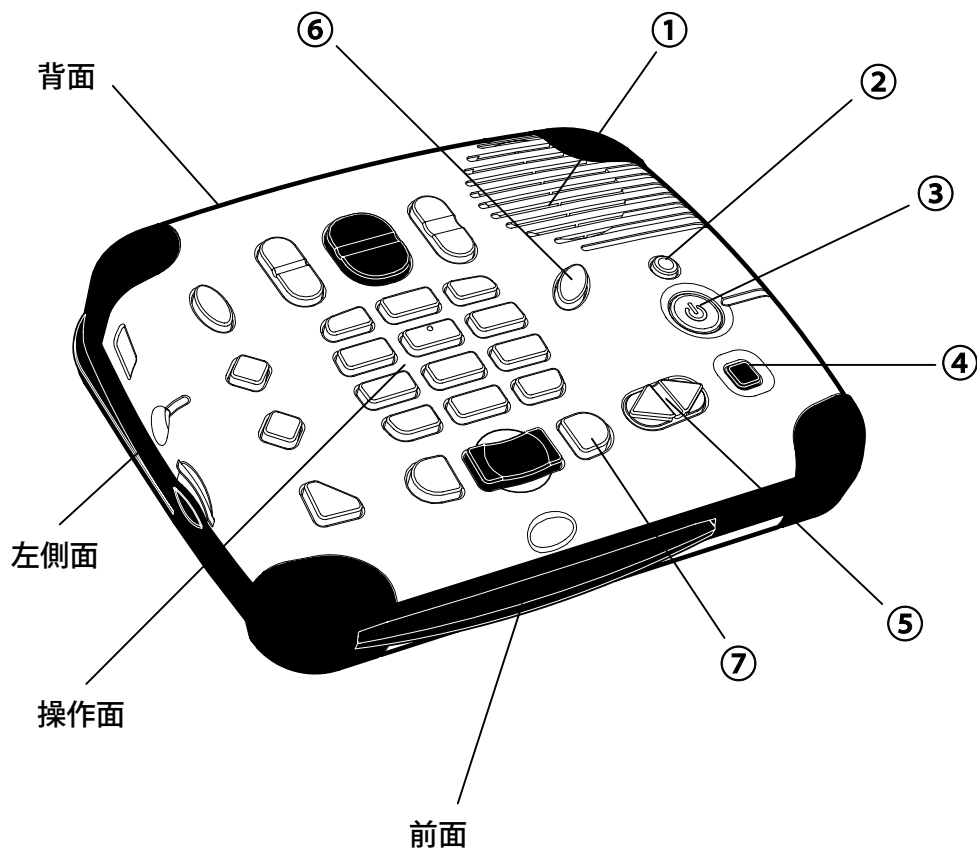
手順
簡単カバーの右側面手前と左側面手前の、ツメのある部分を外側に開き、ツメが外れた状態のまま上へ持ち上げるとカバーを外すことができます。

＜注意＞
●ツメのある部分を外側へ引っ張る時、力を入れ過ぎるとカバーが破損する恐れがあります。力を入れ過ぎないように注意してください。

＜簡単カバーの取り付け方＞

手順
1)　カバーの背面に２箇所ある固定用のツメを本体に掛けます。
2)　カバー全体を上から優しく押し込むと、カバーがはまります。最後まで確実にはめ込んでください。

1章3　各部の名称と働き

本体の形状

本製品を操作するための各種キーが配置されている広い面を「操作面」と呼びます。操作面の中で、網目になっている部分が右上になるように本体を置きます。手前側の面を「前面」、背後の面を「背面」、本体下側を「底面」、右側の側面を「右側面」、左側の側面を「左側面」と呼びます。

各キーの位置と操作方法を簡単に説明します。詳しい操作方法は次章以降を参照してください。

操作面

①内蔵スピーカー

操作面の右上にあり、触ると網目になっています。再生音や音声ガイドが流れます。

②お休みタイマーキー

右端の縦方向に３つ並んでいるキーの一番上のキーです。内蔵スピーカーのすぐ下にあります。お休みタイマーを設定します。

③電源キー

お休みタイマーキーのすぐ下にあり、少し窪んだ位置にあります。電源キーの右側には直線状の窪みがあり、操作面の右端を手で触ると位置が分かるようになっています。長く押すと電源がＯＮ／ＯＦＦされます。電源が入ると光ります。

④イジェクトキー

電源キーのすぐ下にあります。少し窪んだ位置にあります。ＣＤを取り出す時に押します。

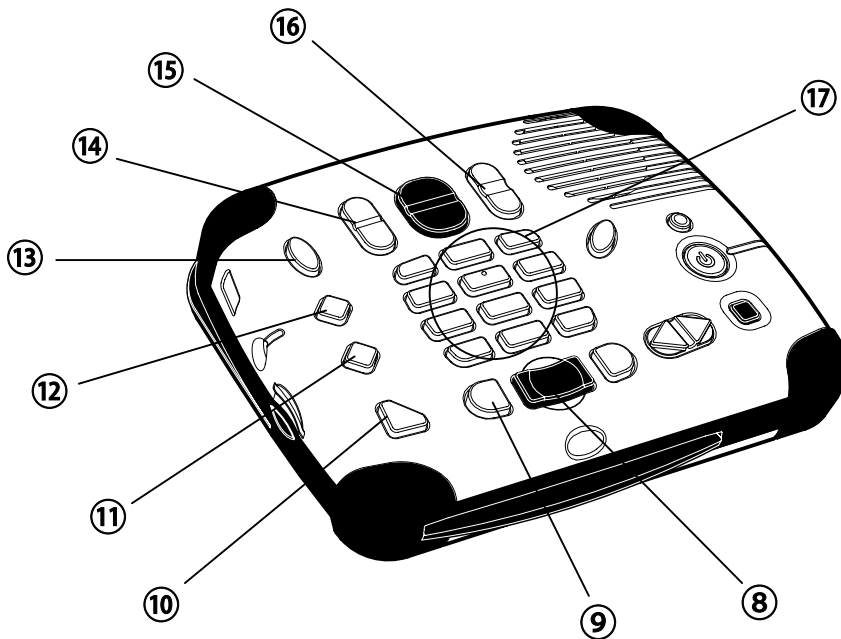
⑤タイトル選択キー(右：タイトル選択右キー、左：タイトル選択左キー)

イジェクトキーの左にあります。キーは左右に分かれていて、右側をタイトル選択右キー、左側をタイトル選択左キーと呼びます。本製品では再生可能なＤＡＩＳＹ図書や音楽をタイトルと呼び、１枚のＣＤの中に２冊以上のＤＡＩＳＹ図書が収録されている時などに、タイトル選択右キーまたはタイトル選択左キーを押すことでＤＡＩＳＹ図書のタイトルを切り替えることができます。また、タイトル選択右キーとタイトル選択左キーを同時に押すと、本製品で利用可能なＣＤ、ＳＤカード、ＵＳＢ機器を切り替えることができます。本製品では、ＣＤ、ＳＤカード、ＵＳＢ機器をメディアと呼びます。

⑥メニューキー

お休みタイマーキーの左側にあります。本製品の設定を変更する場合や、ＳＤカードやＵＳＢ機器にバックアップしたタイトルを削除する場合に使います。メニューキーを押すとメニューが始まります。メニューが開始されたら、４キーまたは６キーでメニュー項目を選びます。メニュー項目には、「再生設定」「メディア管理」「管理」があります。その中から目的の項目を選び、シャープキーを押して決定します。すると、詳細項目を選べる状態になりますので、４キーまたは６キーで目的の項目を選び、シャープキーを押して決定します。後は音声ガイドの指示に従って操作します。操作の途中でアスタリスクキーを押すと、現在の操作がキャンセルされ、ひとつ前の操作に戻ります。操作の途中で全てをキャンセルしたい時は、メニューキーを押すと全てキャンセルされます。また、メニューキーを長く押すとキー説明が始まり、もう一度長く押すとキー説明が終ります。

⑦送りキー

タイトル選択キーの左にあります。再生を早送りする際に使います。送りキーと戻しキーを同時に長く押すとキーロックが有効／無効になります。

⑧再生・停止キー

送りキーの左側にあります。中央が窪んだ横長の形をしています。再生・停止キーを押すと再生が始まります。もう一度押すと再生が停止します。

⑨戻しキー

再生・停止キーの左側にあります。再生を巻き戻す際に使います。送りキーと戻しキーを同時に長く押すとキーロックが有効／無効になります。

⑩しおりキー

左端の縦方向に４つ並んでいるキーの一番下のキーです。戻しキーの左の位置になります。しおりへ移動したり、しおりを付けたり消したりする際に使います。しおりに移動するには、しおりキーを１回押し、しおり番号をテンキーで入力してからシャープキーを押すと、そのしおりの位置に移動します。しおりを付けるには、しおりキーを２回押し、しおり番号を入力してからシャープキーを押すと、その番号のしおりが設定されます。しおりを削除するには、しおりキーを３回押し、しおり番号を入力してからシャープキーを押すと、その番号のしおりが削除されます。

⑪移動キー

しおりキーの上にあります。ＤＡＩＳＹ図書のページや見出し、音楽の曲やアルバムなどに、直接移動する際に使います。移動キーを１回押した後、ページ番号や曲の番号を入力してシャープキーを押すと、そのページや曲に直接移動することができます。移動キーを２回押した後、見出し番号やアルバムの番号を入力してシャープキーを押すと、その見出しやアルバムに直接移動することができます。

⑫メディア選択キー

移動キーの上にあります。メディア選択キーを押すごとに、本製品で利用可能なＣＤ、ＳＤカード、ＵＳＢ機器を切り替えることができます。

⑬情報キー

左端の縦方向に４つ並んでいるキーの一番上のキーです。ＤＡＩＳＹ図書などに関する情報を聞くことができます。長く押すと現在の時刻と日付を音声でガイドします。

⑭トーンキー（上：トーンアップキー、下：トーンダウンキー）

情報キーの右側にあります。トーン（音質）を調整することができます。キーは上下に分かれており、上半分を「トーンアップキー」、下半分を「トーンダウンキー」と呼びます。トーンアップキーを押すと高音が強調され、トーンダウンキーを押すと低音が強調されます。トーンアップキーとトーンダウンキーを同時に押すとトーンが標準に戻ります。

⑮音量キー（上：音量アップキー、下：音量ダウンキー）

トーンキーの右側にあります。再生音量と音声ガイド音量を同時に調整します。キーは上下に分かれており、上半分を「音量アップキー」、下半分を「音量ダウンキー」と呼びます。音量アップキーを押すと音量が大きくなり、音量ダウンキーを押すと音量が小さくなります。音量アップキーと音量ダウンキーを同時に押すと音量が初期設定値に戻ります。

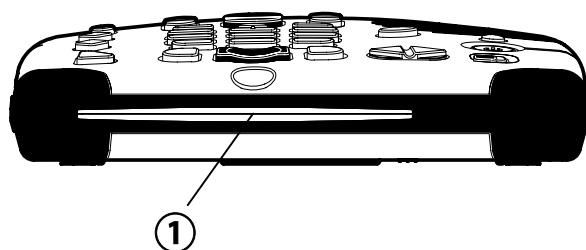
⑯スピードキー（上：スピードアップキー、下：スピードダウンキー）

音量キーの右側にあります。再生スピードや音声ガイドの話す速さを調整することができます。キーは上下に分かれており、上半分を「スピードアップキー」、下半分を「スピードダウンキー」と呼びます。スピードアップキーを押すとスピードが速くなり、スピードダウンキーを押すとスピードが遅くなります。スピードアップキーとスピードダウンキーを同時に押すとスピードが標準に戻ります。

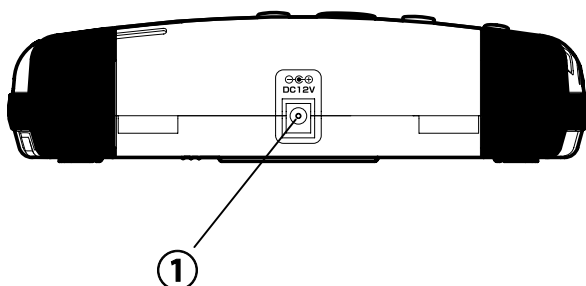
⑰テンキー

テンキーは本体中央に位置し、トーンキー・音量キー・スピードキーの下にある１２個のキーです。電話のプッシュボタンと同じように配置されており、おもに番号の入力に使います。５キーには位置を示すために小さな突起が付いています。

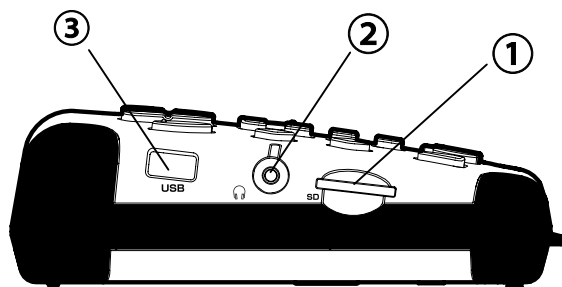
また、次のような用途もあります。ＤＡＩＳＹ図書の便利な頭出しによって、現在の再生箇所から別の箇所に移動する際に、２キーまたは８キーで頭出しの移動単位を選び、４キーで前に戻り、６キーで次に進むことができます。その他、９キーはバックアップの開始操作、０キーはヘルプの開始と終了の操作に使います。アスタリスクキーは操作のキャンセルや直前の移動を取り消すアンドゥの操作、シャープキーは操作の決定やアンドゥの操作を取り消すためのリドゥの操作に使います。

前面

①ＣＤ挿入口

ＣＤを出し入れします。ＣＤをある程度入れると自動的に取り込まれます。

背面

①電源入力端子

中央の穴が電源入力端子です。付属の電源アダプターを接続します。

左側面

①ＳＤカード挿入口

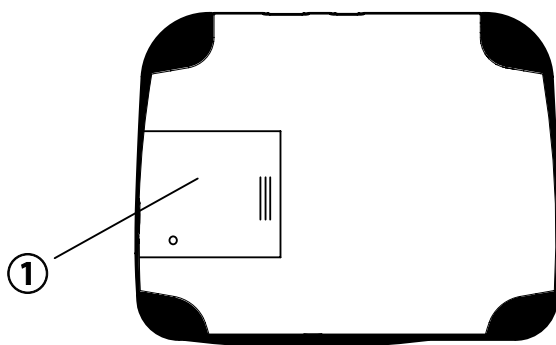
左側面手前側の少し窪んだ細長い穴がＳＤカード挿入口です。ＳＤカードを入れます。

②ヘッドホン出力端子

手前側から２番目の丸い穴がヘッドホン出力端子です。ヘッドホンプラグを差し込みます。ステレオ出力です。

③ＵＳＢ端子

一番奥の長方形の穴がＵＳＢ端子です。ＵＳＢ機器を接続します。

底面

①バッテリー蓋

左側にバッテリー蓋があります。出荷時にはバッテリーが装着されており、蓋はネジ止めされています。

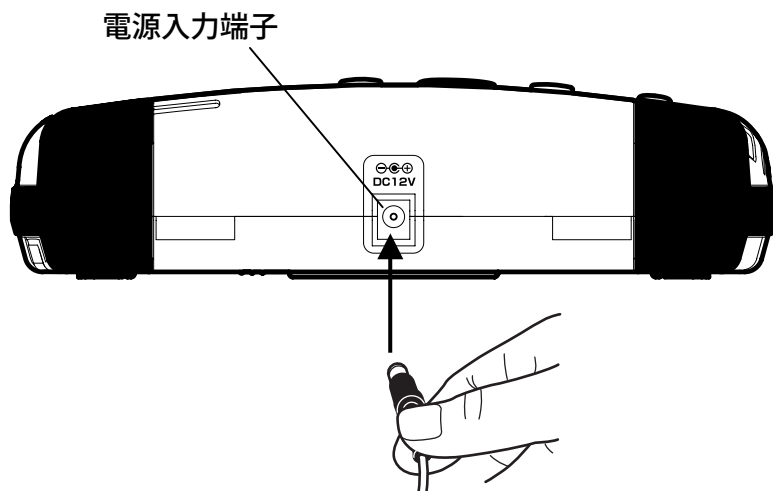
2章　準備しましょう

2章1　電源アダプターを接続する

手順
1）本製品を机・台などの平らで硬いものの上に置きます。
2）背面中央の電源入力端子に、電源アダプターを接続します。
3）電源プラグをコンセントに差し込みます。自動的にバッテリーに充電が始まります。

＜警告＞

●付属品以外の電源アダプターを使用すると故障・火災の原因になります。必ず付属の電源アダプターを使用してください。

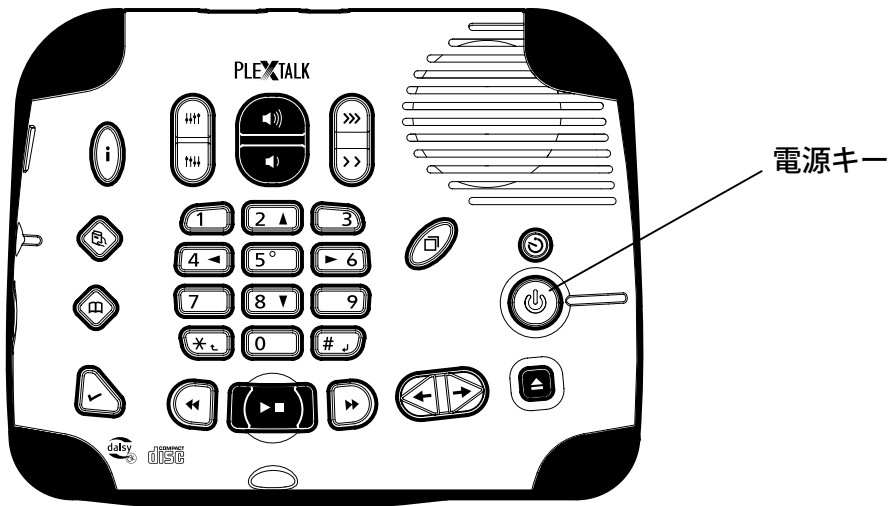
●本体と電源アダプター、電源プラグとコンセントは、しっかりと接続してください。

２章２　電源のＯＮ／ＯＦＦ

電源を入れる

手順	音声ガイド
1）［電源キー］を長く押します。（１秒以上押し続けます。）	「しばらくお待ちください」
2）［電源キー］が点灯し、電源が入ります。	

＜ポイント＞
●購入後、初めて電源を入れる際は、必ず電源アダプターを接続してから、電源を入れてください。
●購入後、初めて電源を入れた際には、本製品が起動するまでに３０秒ほど時間がかかります。

電源を切る

手順	音声ガイド
1）［電源キー］を長く押します。（１秒以上押し続けます。）	「電源ＯＦＦ」
2）［電源キー］が消灯し、電源が切れます。	

２章３　音量・スピード・トーンの調整

音量を調整する

手順	音声ガイド
操作面上部の［音量アップキー］を押すたびに１段階ずつ音量が大きくなり、［音量ダウンキー］を押すたびに１段階ずつ音量が小さくなります。音量は、０から２５まで１段階ずつ調整できます。	「音量・・」

＜ポイント＞

●音量キーを押し続けると、素早く音量が変化します。

●［音量アップキー］と［音量ダウンキー］を同時に押すと、初期値の音量（音量１３）に戻ります。

●音量を上げると再生音と共に音声ガイドの音量も上がります。なお、音声ガイドの音量のみを調整したい場合は、「ガイド音量の選択」70 ページを参照してください。

●再生音量をゼロにしても、わずかに音声ガイドが流れます。

●再生中に音量の調整を行った場合には、音声ガイドはありません。

＜注意＞

●ヘッドホンで音声を聞く場合は適度な音量で聴いてください。大きな音量で聴き続けると聴覚を害する恐れがあります。

スピードの調整

手順	音声ガイド
操作面上部の［スピードアップキー］を押すたびに１段階ずつスピードが速くなり、［スピードダウンキー］を押すたびに１段階ずつスピードが遅くなります。−２から+８までの段階で調整します。	「スピード　＋１」 ・・・

＜ポイント＞

●再生スピードは、－２から＋８までの１１段階で調整できます。１段階でスピードが０.２５倍増減します。－２が０.５倍速、＋４が２倍速、＋８が３倍速です。

●［スピードアップキー］と［スピードダウンキー］を同時に押すと「スピード標準」に戻ります。

●音声ガイドも再生スピードと同様にスピードが変わります。

●再生中にスピードの調整を行った場合には、音声ガイドはありません。

●テキストファイルの再生スピードは、０.５倍速から２倍速までになります。

トーン（音質）の調整

手順	音声ガイド
操作面上部の［トーンアップキー］を押すたびに１段階ずつ高音が強調され、［トーンダウンキー］を押すたびに１段階ずつ低音が強調されます。－６から＋６までの段階で調整します。	「トーン　＋１」 ・・・

＜ポイント＞

●［トーンアップキー］と［トーンダウンキー］を同時に押すと「トーン標準」に戻ります。

●音声ガイドのトーンも再生トーンと同様にトーンが変わります。

●再生中にトーンの調整を行った場合には、音声ガイドはありません。

３章　基本操作編：ＣＤを再生する

３章１　ＣＤについて

＜ＣＤの取扱いについて＞

ＣＤは円盤の形をしており、直径は１２ｃｍしかありません。ドーナッツのように中心に丸い穴が開いており、穴の大きさは、ちょうど人差し指を差し込むことが出来るくらいの大きさです。ＣＤを持つときは、真ん中の穴に人差し指を入れ、外側の縁を他の指で支えるようにして持ちます。ＣＤの中央の穴の外側約１ｃｍのところに、円形の凸線がある面が記録面です。記録面には大切な音声が記録されていますので、なるべく記録面には触れずに、縁を持つようにします。記録面に指紋や汚れが付くとＣＤを正しく読み取れない場合があります。

＜再生できるＣＤ＞

本製品では次の種類のＣＤを再生することができます。

種類	説明
ＤＡＩＳＹ図書ＣＤ	ＤＡＩＳＹ図書を収録したＣＤです。
音楽ＣＤ	市販の音楽ＣＤです。
音声ファイルＣＤ	音声ファイルを収録したＣＤです。複数のアルバムを１枚のＣＤに収録することができます。
テキストファイルのＣＤ	テキストファイルを収録したＣＤです。

＜ポイント＞

●本製品では標準的な直径１２ｃｍのＣＤを再生することができますが、以下のようなＣＤは使用できません。無理に使うと故障の原因になります。

・直径８ｃｍのＣＤ（シングルＣＤ）→アダプターを付けても使用できません。

・名刺型などの特殊な形状のＣＤ

・ラベルやシールを貼ったＣＤ

●著作権保護技術付き音楽ＣＤは再生できない場合があります。

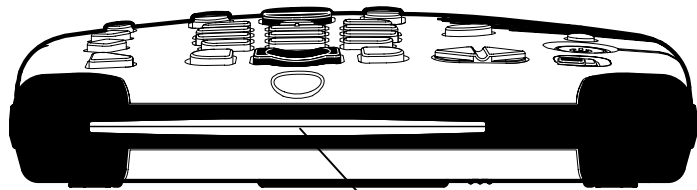
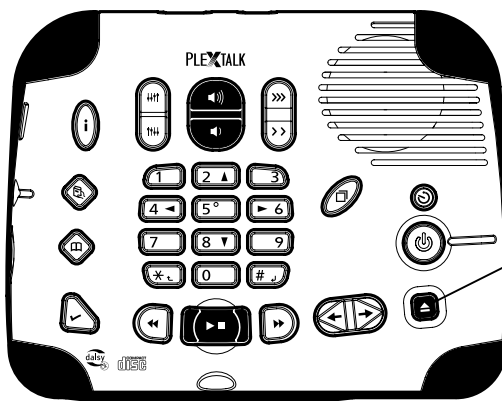
●ＣＤにＤＡＩＳＹ図書、音声ファイル、テキストファイルのうちの２種類以上が保存されている場合、どれか一種類しか再生できません。

<ＣＤの入れ方>

手順	音声ガイド
ＣＤを前面のＣＤ挿入口に入れます。あまり力を入れる必要はありません。ＣＤをある程度入れると、自動的に本製品に取り込まれます。	「ディスク、DAISY 図書」 または 「ディスク、音楽ＣＤ」

<ポイント>

●本製品はＣＤの記録面を下にしてＣＤ挿入口に入れるようになっています。もし、記録面を上にして入れてしまった場合、しばらく後に「再生できないディスクです」「取り出します」とガイドされます。その際は、裏返して入れ直してください。裏返しても「再生できないディスクです」という内容の音声ガイドがあった場合は、そのＣＤには何も収録されていません。

<ＣＤの取り出し方>

手順	音声ガイド
本製品の右下の位置にある［イジェクトキー］を押してください。ＣＤが自動的に排出されます。	「取り出します」

３章２　ＤＡＩＳＹ図書を聞く

再生・停止する

ＤＡＩＳＹ図書などの再生・停止の方法は、以下のようになります。

手順	音声ガイド
1）［再生・停止キー］を押します。再生が始まります。	「～本文～」
2）もう一度［再生・停止キー］を押すと、再生が停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞
●本製品は、過去に聞いた１０００タイトル分の図書の、最後に停止した場所を自動的に覚えていますので、電源をＯＮ／ＯＦＦしても前回停止した場所から再生します。

早送り、巻き戻しをする

［送りキー］を押し続けると早送りされ、［戻しキー］を押し続けると巻き戻されます。

手順	音声ガイド
1）［送りキー］または［戻しキー］を押し続けると、キュルキュルという音がした後に、１分、５分、１０分、２０分、３０分・・・と次第に速くなり、１０分以上になると指を離してもそのままの速度で送り、または戻し続けます。	「１分、５分、１０分、２０分、３０分、・・・」
2）１０分未満の場合は、再生したいところで指を離すと、自動的に再生が始まります。１０分以上の場合は、再生したい場所で［再生・停止キー］を押すと、再生が始まります。	「～本文～」

＜ポイント＞
●テキストのみのＤＡＩＳＹ図書の場合、５フレーズごとに早送りや巻き戻しをします。

３章３　ＤＡＩＳＹ図書の便利な頭出し

ＤＡＩＳＹ図書の移動単位について

ＤＡＩＳＹ図書は様々な単位によって区切られており、ある場所から次の場所へとすばやく移動することができます。以下に本製品で移動可能な単位をまとめました。

単位	説明
レベル１～６（見出し）	本の章・節・項などの内容に基づいて、頭出しをする際に使用します。たとえば、章が「レベル１」、節が「レベル２」、項が「レベル３」に相当します。頭出しされる冒頭部分を「見出し」と呼びます。
グループ	レベル１～６の見出しによる頭出しとは別に設定されている移動単位です。グループは、図表説明の先頭・最後などに設定されている場合があります。
ページ	本のページに基づいて、頭出しをする際に使用します。
フレーズ	文章を音読すると、句読点などの区切り目のところで、息つぎの間ができます。 この間から次の間までのひと区切りの音声を、「フレーズ」と呼びます。通常、１フレーズは数秒から十数秒程の長さになります。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞

●ＤＡＩＳＹ図書によっては、「グループ」や「ページ」が設定されていない場合があります。

●しおり単位の移動については「番号でしおりに移動する」「前後のしおりに移動する」41 ページを参照してください。

２キーまたは８キーで移動単位を選択する

移動単位を選択するには［２キー］または［８キー］を押して選択します。押すたびに移動単位が音声でガイドされます。

操作	音声ガイド
［８キー］を押して、下方向に移動単位を変更してみましょう。	「レベル２」 「レベル３」 ・・・ 「レベル６」 「グループ」 「ページ」 「フレーズ」 「しおり」 「レベル１」 「レベル２」
［２キー］を押して、上方向に移動単位を変更してみましょう。	「しおり」 「フレーズ」 「ページ」 「グループ」 「レベル６」 ・・・ 「レベル３」 「レベル２」 「レベル１」 「しおり」

＜ポイント＞

●［８キー］を押していくと、より細かな移動単位に移ります。一番細かな移動単位の「フレーズ」まで達すると、その次は再び「レベル１」に戻ります。［２キー］を押していくと、よりおおまかな移動単位に移ります。一番おおまかな移動単位の「レベル１」まで達すると、その次は再び「フレーズ」に戻ります。

●どのようなＤＡＩＳＹ図書にも「レベル１」と「フレーズ」は必ずありますが、それ以外の移動単位は設定されていない場合があります。設定されていない移動単位は音声ガイドされません。

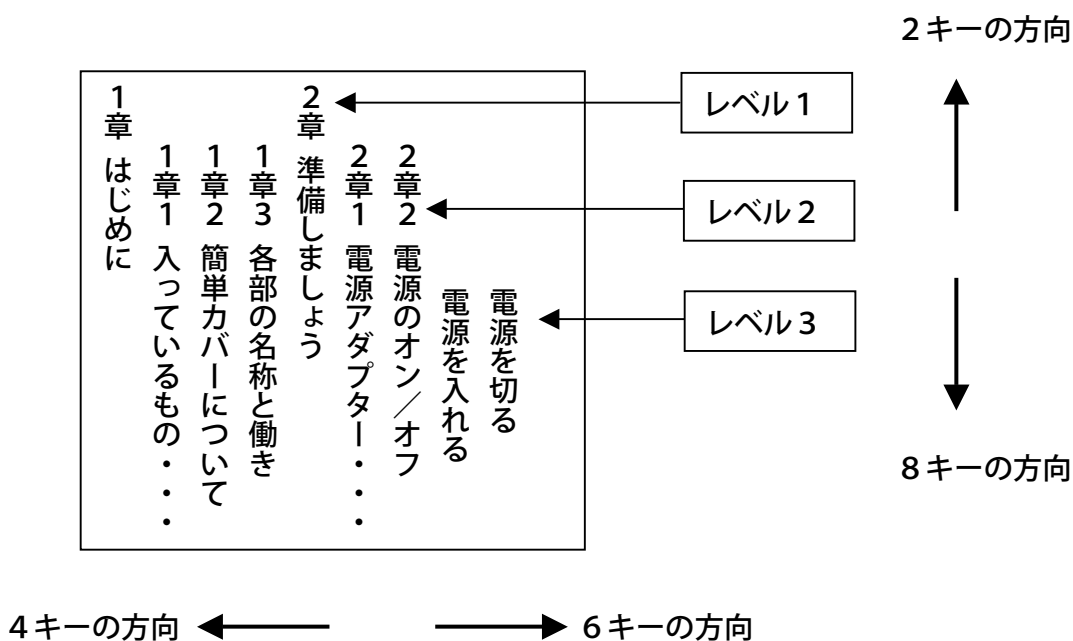
●［５キー］を押すと現在選択されている移動単位を音声でガイドします。

前後の見出しに移動する

［2キー］または［8キー］で「レベル○」を選択し、［4キー］を押すと前の見出しに戻ります。［6キー］を押すと次の見出しに進みます。たとえば、「3章5節」に移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［2キー］または［8キー］を何回か押して、「レベル1」を選択します。	「レベル1」
2）［6キー］を何回か押して、「3章」まで移動します。行き過ぎたら［4キー］で前に戻ります。自動的に再生が始まります。	
3）［8キー］を1回押して、「レベル2」を選択します。	「レベル2」
4）［6キー］を何回か押して、「3章5節」まで移動します。行き過ぎたら［4キー］で前に戻ります。自動的に再生が始まります。	

＜ポイント＞

●［2キー］または［8キー］で「レベル2」に設定し、［6キー］または［4キー］で移動すると、「レベル1」と「レベル2」の両方の見出しに移動します。また、「レベル3」に設定して移動すると、「レベル1」と「レベル2」と「レベル3」の見出しに移動します。

前後のグループに移動する

［２キー］または［８キー］で「グループ」を選択し、［４キー］または［６キー］でグループごとに移動できます。

手順	音声ガイド
1）［２キー］または［８キー］を何回か押して、「グループ」を選択します。	「グループ」
2）［６キー］を押すたびに、１グループずつ進みます。［４キー］を押すと戻ります。自動的に再生が始まります。	

<ポイント>

●グループとグループの間に見出しがあった場合には、見出しにも移動します。

●グループが設定されていない場合、［２キー］または［８キー］でグループを選択することはできません。

前後のページに移動する

［２キー］または［８キー］で「ページ」を選択し、［４キー］または［６キー］でページごとに移動できます。

手順	音声ガイド
1）［２キー］または［８キー］を何回か押して、「ページ」を選択します。	「ページ」
2）［６キー］を押すたびに、１ページずつ進みます。［４キー］を押すと戻ります。自動的に再生が始まります。	

<ポイント>

●ページが設定されていない場合、［２キー］や［８キー］でページを選択することはできません。

●手順２で、［４キー］または［６キー］を長く押すと１０ページ、２０ページ、３０ページというように、１０ページずつ移動します。

前後のフレーズに移動する

［２キー］または［８キー］で「フレーズ」を選択し、［４キー］または［６キー］でフレーズごとに移動できます。

手順	音声ガイド
1）［２キー］または［８キー］を何回か押して、「フレーズ」を選択します。	「フレーズ」
2）［６キー］を押すたびに、１フレーズずつ進みます。［４キー］を押すと戻ります。自動的に再生が始まります。	

この方法の他に、送りキーまたは戻しキーを使う方法もあります。

手順	音声ガイド
1）［送りキー］を押すたびに、１フレーズずつ進みます。［戻しキー］を押すと１フレーズずつ戻ります。自動的に再生が始まります。	

＜ポイント＞

●［戻しキー］または［４キー］を押すタイミングによっては現在のフレーズの先頭に移動する場合があります。そのような場合は２回連続してキーを押すと、前のフレーズの先頭に移動することができます。

ダイレクト移動：ページに移動する

番号を直接指定して移動することを「ダイレクト移動」と呼びます。
２０ページに移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［移動キー］を１回押します。	「移動先のページ番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
2）数字の［２キー］［０キー］を押します。	「２」「０」
3）［＃キー］を押して決定します。２０ページから再生が始まります。	「決定」「ページ２０」 「～本文～」

<ポイント>
●手順３で［＃キー］の代わりに［再生・停止キー］を使うこともできます。
●数字を間違って入力した場合、［＊キー］を押すと数字の誤入力を訂正できます。さらに［＊キー］を押すと、ダイレクト移動の操作を中止することができます。また、どの状態からでも［＊キー］を長く押すと、ダイレクト移動の操作を中止できます。
●ページ番号の入力後に情報キーを押すと、入力した番号がガイドされます。

ダイレクト移動：見出しに移動する

５番目の見出しに移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［移動キー］を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでタイトル先頭に移動」「番号０でタイトル最後に移動」
2）数字の［５キー］を押します。	「５」
3）［＃キー］を押して決定します。５番目の見出しの位置から再生が始まります。	「決定」「見出し５」 「～本文～」

<ポイント>
●見出し番号とは、各タイトルの見出しに対して先頭から順番に振った番号です。つまり、先頭から数えて何番目の見出しかを表す数字です。

ダイレクト移動：先頭・最後に移動する

選択中のタイトルの先頭および最後に移動するには次のように操作します。

＜先頭に移動する＞

手順	音声ガイド
1）［移動キー］を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでタイトル先頭に移動」「番号０でタイトル最後に移動」
2）［＃キー］を押して決定します。先頭から再生が始まります。	「決定」 「先頭です」 「～本文～」

＜最後に移動する＞

手順	音声ガイド
1）［移動キー］を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでタイトル先頭に移動」「番号０でタイトル最後に移動」
2）［０キー］を押します。	「０」
3）［＃キー］を押して決定します。最後に移動します。	「決定」 「最後です」

＜ポイント＞

●図書の最後付近を再生するには、最後に移動してから少し戻ってください。戻らずに［再生・停止キー］を押すと、先頭に移動してしまいます。

●最後に移動したはずなのに先頭に移動してしまった場合は、再生設定が「タイトルリピート」になっている可能性があります。再生設定の変更方法は「８章２　再生設定」65ページを参照してください。

３章４　読みたい本を選ぶ

ＣＤにＤＡＩＳＹ図書が２冊以上収録されている場合があります。そのような時はタイトル選択キーを押して、ＤＡＩＳＹ図書を選択します。

手順	音声ガイド
1）　ＤＡＩＳＹ図書が複数あるＣＤを本製品のＣＤ挿入口に入れます。	「ディスク、DAISY 図書　１」 「～タイトル名～」
2）　［タイトル選択右キー］を押すと、次の図書の番号とタイトル名が音声でガイドされます。逆に、［タイトル選択左キー］を押すと、前の図書の番号とタイトル名が音声でガイドされます。読みたい本のタイトル名が音声ガイドされるまで、［タイトル選択右キー］または［タイトル選択左キー］を何回か押します。	「DAISY 図書　２」 「～タイトル名～」
3）　［再生・停止キー］を押すと、その図書が再生されます。	

＜ポイント＞

●［タイトル選択右キー］と［タイトル選択左キー］を同時に押すと、メディアが切り替わります。詳しくは「７章１　ＳＤカードやＵＳＢ機器に保存されているタイトルを再生する」56 ページを参照してください。

３章５　音楽ＣＤを聞く

音楽ＣＤの再生・停止・早送り・巻き戻しの操作はＤＡＩＳＹ図書と同じです。詳しくは「３章２　ＤＡＩＳＹ図書を聞く」28 ページを参照してください。ここでは頭だしについて説明します。

音楽ＣＤの移動単位について

音楽ＣＤの移動可能な単位は以下のとおりです。

単位	説明
トラック	音楽の「曲」を表します。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞

●［２キー］または［８キー］を押すことで、「トラック」と「しおり」が音声ガイドされます。ただし、しおりが設定されていない場合は「しおり」とはガイドされず、「トラック」だけがガイドされます。

●しおり単位の移動については「番号でしおりに移動する」「前後のしおりに移動する」41 ページを参照してください。

前後のトラックに移動する

トラック３（３曲目）に移動するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
1）　音楽ＣＤを挿入した後、［２キー］または［８キー］を押して、「トラック」を選択します。	「トラック」
2）　［６キー］または［４キー］を何回か押して、「トラック３」まで移動します。自動的に再生が始まります。	・・・ 「トラック３」

この方法の他に、送りキーまたは戻しキーを使う方法もあります。

手順
1）　[送りキー］を押すたびに、１トラックずつ先に移動します。[戻しキー］を押すと１トラックずつ戻ります。自動的に再生が始まります。

ダイレクト移動：トラックに移動する

トラック５（５曲目）に直接移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）　[移動キー］を１回押します。	「移動先のトラック番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」「番号なしでアルバムの先頭に移動」
2）　数字の［５キー］を押します。	「５」
3）　［＃キー］を押して決定します。トラック５から再生が始まります。	「決定」 「トラック５」

４章　基本操作編：その他の機能

４章１　お休みタイマー

設定した時間で電源を自動的にＯＦＦにします。お休み前にＤＡＩＳＹ図書などを聞きながら眠りたいときに設定しておくと便利です。お休みタイマーの時間は以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1）［お休みタイマーキー］を押します。１回押すと「１５分」に設定されます。	「お休みタイマー１５分」 「設定しました」
2）音声ガイドが流れている間に、もう１回押すと「３０分」に再設定されます。	「３０分」「設定しました」
3）音声ガイドが流れている間に、［お休みタイマーキー］を押していくと、「４５分」、「１時間」、「ＯＦＦ」と再設定されます。	「４５分」「設定しました」 「１時間」「設定しました」 「ＯＦＦ」

＜ポイント＞

●設定後、数秒間経過してから［お休みタイマーキー］を押すと、お休みタイマーの残り時間が音声でガイドされます。

●設定後にお休みタイマーを取り消すには、お休みタイマーの残り時間が音声ガイドされている間に、手順３の方法で「ＯＦＦ」に設定します。

４章２　しおり

ＤＡＩＳＹ図書や音楽などを、あとで聞き返す際の目印として、好きなところに「しおり」を付けることができます。
しおりには番号が付けることができます。その番号を指定すると、しおりが付いている場所に瞬時に移動することができます。

＜ポイント＞
●しおりには、1 番から 65,000 番までの番号を付けることができます。
●しおりの数は合計 10,000 個まで付けることができますが、これを超えた場合は、最近使われていないしおりから自動的に削除されます。
●しおりは本製品の内部に記録するものです。見出しやページのようにＤＡＩＳＹ図書に付けるものではありません。そのため、しおりは、ご利用の製品でのみ使用できます。

しおりを付ける

番号を指定してしおりを付けます。「しおり１」を付けてみましょう。

手順	音声ガイド
1）　しおりを付けたい場所に移動します。	
2）［しおりキー］を２回押します。	「設定するしおり番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
3）　しおり番号「１」をテンキーで入力します。	「１」
4）［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「しおり１　設定しました」

＜ポイント＞
●タイトルの先頭と最後にはしおりを付けることはできません。

番号でしおりに移動する

３番のしおりに移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［しおりキー］を１回押します。	「移動先のしおり番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
2） しおり番号「３」をテンキーで入力します。	「３」
3）［#キー］を押して決定します。しおり３ の位置から再生されます。	「決定」 「しおり３」

＜ポイント＞
●しおりの番号を忘れてしまった場合は、下記の「前後のしおりに移動する」で、しおりの番号順に移動することができます。

前後のしおりに移動する

手順	音声ガイド
1）［２キー］または［８キー］を何回か押して、「しおり」を選択します。	・・・「しおり」
2）［６キー］を押すと次の番号のしおりに移動し、［４キー］を押すと前の番号のしおりに戻ります。	「しおり○」 「～本文～」

＜ポイント＞
●しおりが無いと、手順１で「しおり」を選択することはできません。

しおりを削除する

４番のしおりを削除するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) ［しおりキー］を３回押します。	「削除するしおり番号を入力」「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」「番号０で選択中タイトルのしおりを全て削除」
2) しおり番号「４」をテンキーで入力します。	「４」
3) ［＃キー］を押して決定します。	「決定」「しおり４削除しました」

選択中タイトルのしおりを全て削除する

現在聞いているＤＡＩＳＹ図書やテキストファイルのタイトルに付けたしおりを、まとめて削除できます。音楽に付けたしおりは、この操作ですべて削除されます。

手順	音声ガイド
1) ［しおりキー］を３回押します。	「削除するしおり番号を入力」「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」「番号０で選択中タイトルのしおりを全て削除」
2) 数字の「０」をテンキーで入力します。	「０」
3) ［＃キー］を押して決定します。	「決定」「削除しました」

＜ポイント＞

●音楽の場合、ひとつのメディアに複数のアルバムが収録されていると、上記の操作によって、そのメディア内のすべてのアルバムのしおりが削除されます。

４章３　様々な情報を聞く

情報を聞く

メディアに記録されているＤＡＩＳＹ図書や音楽などに関する情報を音声ガイドで聞くことができます。

手順	音声ガイド
1）［情報キー］を押します。下の表に示された情報が順番にガイドされます。	「～タイトル情報など～」 ・・・
2）［情報キー］を押すごとに、次の内容にスキップできます。	
3）［＊キー］または［＃キー］を押すと情報のガイドが終了します。	

音声ガイドされる情報内容一覧

データ	情報の内容（ガイド順）
ＤＡＩＳＹ図書	電源→時間→ページ→見出し→しおり→タイトル→録音された日時→再生設定
音楽	電源→時間→トラック→アルバム→しおり→タイトル→再生設定
テキストファイル	電源→進捗→しおり→タイトル→更新された日時→再生設定
ヘルプ	電源→ページ→見出し→しおり→再生設定

＜ポイント＞
●ＤＡＩＳＹ図書や音楽などの種類によっては、音声ガイドされない項目があります。

現在の日時を確認する

現在の日時を確認するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
［情報キー］を長押しします。	「午前（午後）・・時・・分」「・・年・・月・・日」

＜ポイント＞
●現在の日時を設定する方法は、「時計設定」72 ページを参照してください。

４章４　キー説明、キーロック

キー説明

［メニューキー］の長押しで、キーの名称と説明を音声ガイドします。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を長く押すとキー説明が可能になります。	「キー説明開始」
2）説明を聞きたいキーを押すと、そのキーに関する説明が音声でガイドされます。	・・・
3）もう一度［メニューキー］を長く押すと、キー説明が終了します。	「キー説明終了」

＜ポイント＞

●キー説明の途中で［電源キー］を押すと、［電源キー］についての説明が音声ガイドされるだけで、電源は切れません。電源を切る場合は、キー説明を終了させてください。

キーロック

本製品を持ち運ぶ際に、キーが誤って押されても動作しなくなります。

手順	音声ガイド
1）［戻しキー］と［送りキー］を同時に長く押すとキーロックが有効になります。	「キーロック　有効」
2）もう一度、［戻しキー］と［送りキー］を同時に長く押すとキーロックが無効になります。	「キーロック　無効」

＜ポイント＞

●電源を切る際にはキーロックを無効にしてください。

４章５　移動を取り消す（アンドゥ、リドゥ）

アンドゥ

移動する前の再生場所に戻ることを意味します。移動した後に［＊キー］（アスタリスクキー）を押すと、移動する前の場所に戻ることができます。
１回分のみ有効です。２回押して２つ前の場所に戻ることはできません。

リドゥ

リドゥとは、アンドゥで元に戻した操作を取り消すことを意味します。アンドゥを行って移動する前の場所に戻った後、そのアンドゥを取り消したい場合に［＃キー］（シャープキー）を押すと、アンドゥは取り消され、移動先に戻ります。
１回分のみ有効です。２回押して２回分の操作を取り消すことはできません。

５章　ＳＤカード・ＵＳＢ機器

本製品はＣＤ以外にＳＤカード・ＵＳＢ機器に記録されたＤＡＩＳＹ図書や音楽などを再生することができます。本製品で使用可能なＣＤ、ＳＤカード、ＵＳＢ機器を「メディア」と呼びます。

５章１　ＳＤカードについて

＜ＳＤカードの形状＞

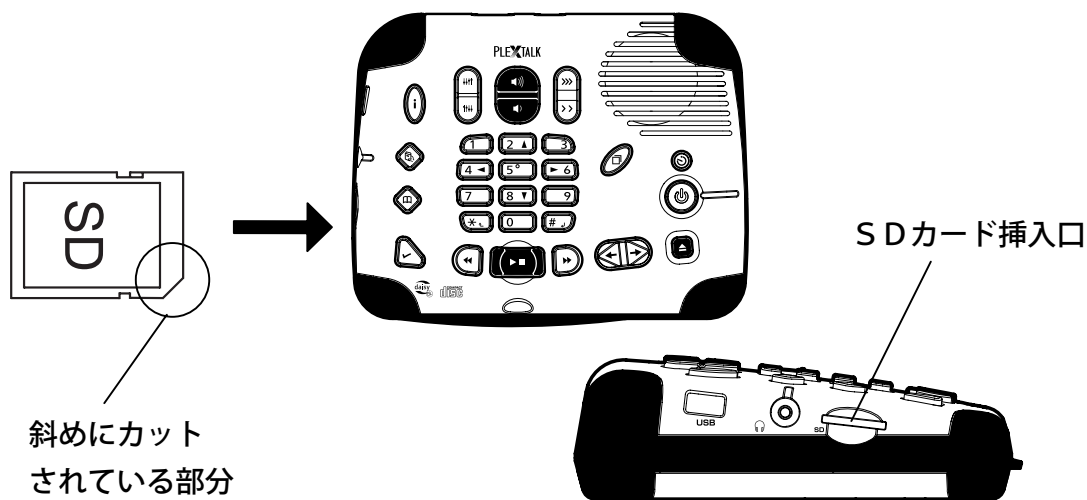
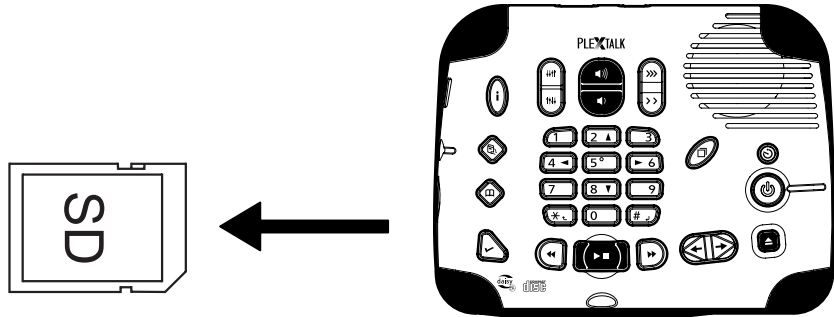
ＳＤカードは切手ほどの大きさで四角い板のような形状をしています。滑らかな面が表面で、ギザギザした部分がある面が裏面です。ＳＤカードはサイズが小さいので、紛失しないように注意してください。

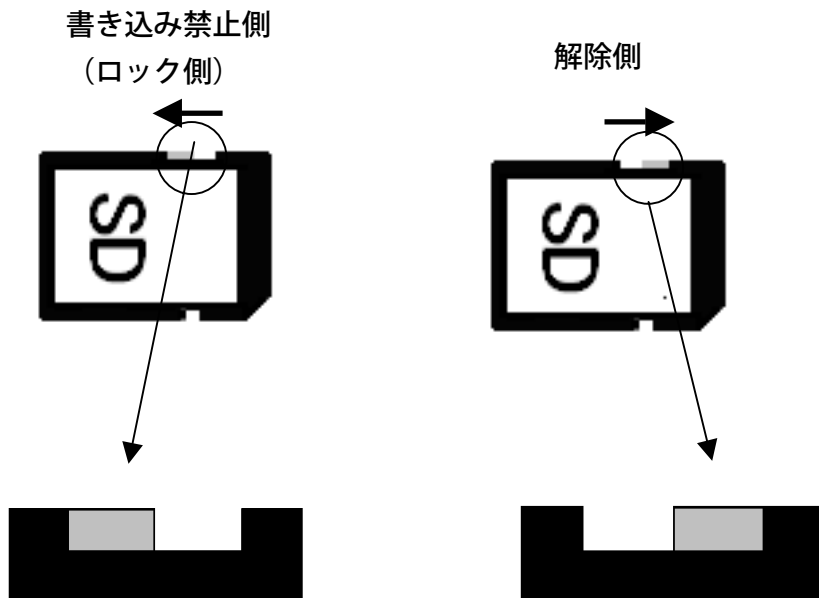
＜使用できるＳＤカードについて＞

本製品はＳＤカードとＳＤＨＣカードに対応していますが、カードによっては、本製品で使用できないものがあります。使用できるカードの一覧は、同梱の「動作確認済品一覧」や弊社ホームページでご確認のうえ、ご購入ください。なお、本製品にはＳＤカードが付属されていませんので、あらかじめご了承ください。

＜ＳＤカードの入れ方＞

手順
1）　電源を切ります。
2）　ＳＤカードの滑らかな面を上に向け、角が斜めにカットされている部分を手前にして、本製品左側面のＳＤカード挿入口にゆっくりと入れます。奥までしっかりと入れてください。
3）　カチッと音がして、ＳＤカードが本製品の内部で固定されます。

＜ＳＤカードの取り出し方＞

手順
1） 電源を切ります。
2） ＳＤカードを指先で１mm ほど押し込みます。
3） カードの固定が解除され、本体内部にあるバネによって本体から５mm ほどカードの先端が自然に出てきます。
4） カードの先端をつまんで取り出します。

＜書き込み禁止スイッチ＞

ＳＤカードの４つの角には１箇所だけ角が斜めにカットされている部分があります。ＳＤカードの滑らかな面を手前に向け、斜めにカットされている角を右下にして手に持ったとき、ＳＤカードの上側面にくぼみがあります。そのくぼみの右側か左側のどちらかにあるのが「書き込み禁止スイッチ」です。指の腹では動かしにくいので、爪に引っ掛けて動かします。このスイッチを左側にすると書き込み禁止（ロック側）になり、データのバックアップや消去をすることができません。それらを行う場合は、書き込み禁止スイッチを右側の解除側にしてください。

５章２　ＵＳＢ機器について

ＵＳＢフラッシュメモリや、ＵＳＢケーブルで接続されたカードリーダーライターなどを「ＵＳＢ機器」と呼びます。

＜利用可能なＵＳＢ機器＞

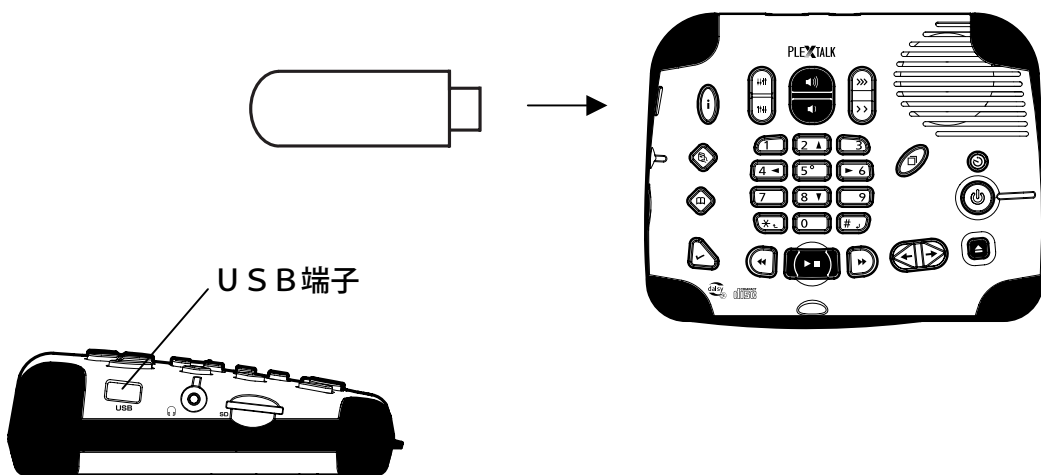
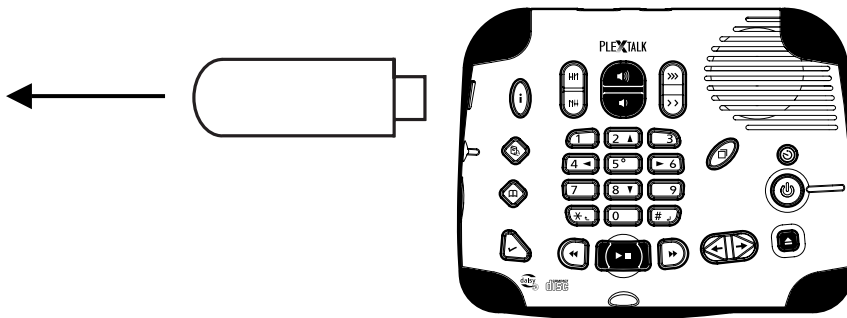
本製品で利用可能なＵＳＢ機器は以下のものです。
・ＵＳＢフラッシュメモリ
・ＵＳＢカードリーダーライター
・ＵＳＢ外付けハードディスクドライブ
注意：ＵＳＢメモリやカードリーダーライター、ハードディスクドライブの種類によっては、本製品で使用することができない場合があります。

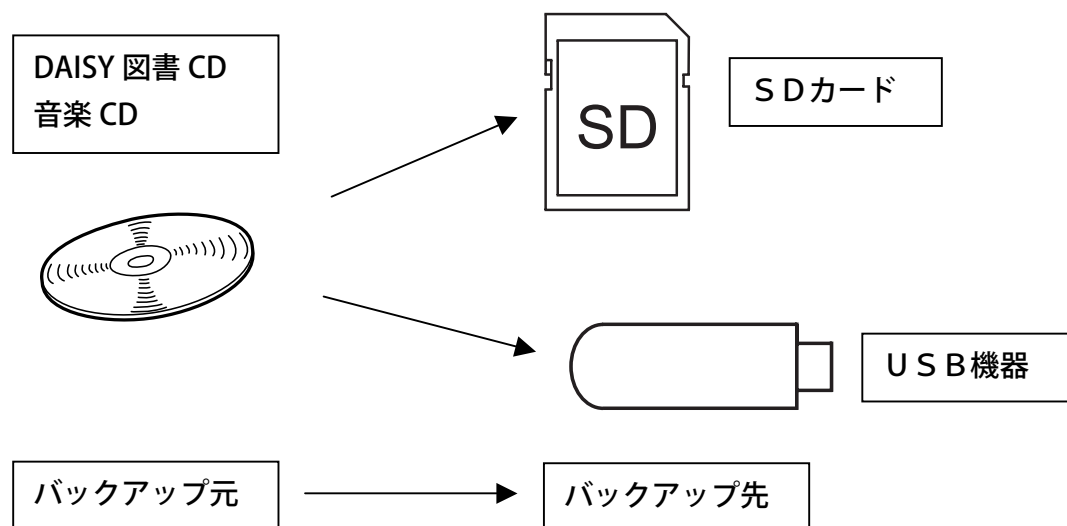
本製品で使用することができないＵＳＢ機器は以下のものです。
・ＵＳＢ外付けＣＤ／ＤＶＤドライブ

＜ポイント＞
●本製品をＵＳＢケーブルでパソコンに接続することはできません。

＜ＵＳＢ機器の接続方法＞

手順
1）　電源を切ります。
2）　ＵＳＢフラッシュメモリは、そのままＵＳＢ端子に差し込みます。 ＵＳＢ接続コードを使ってＵＳＢカードリーダーライターやＵＳＢ外付けハードディスクドライブを接続する場合、横幅が１センチほどの端子（Ａ端子）の方を本製品のＵＳＢ端子に差し込みます。コードの反対側の端子（小さい方の端子）はカードリーダーライターに接続します。

＜ＵＳＢ機器の外し方＞

手順
1）　電源を切ります。
2）　接続しているＵＳＢ機器を取り外します。

６章　ＤＡＩＳＹ図書ＣＤや音楽ＣＤをバックアップする

本製品ではＤＡＩＳＹ図書ＣＤや音楽ＣＤを簡単にバックアップできます。

※ＣＤをＳＤカードにバックアップする場合、ＣＤに収録されているタイトルを「バックアップ元」、ＳＤカードを「バックアップ先」と呼びます。

＜注意＞

●本製品は著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または、刑事上の制裁を受ける場合があります。

●音楽ＣＤ等のコピーは個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

＜ポイント＞

●バックアップ中にＳＤカードやＵＳＢ機器を抜いたり、本製品の電源を切ったりしないでください。データが失われる可能性があります。

●バックアップは、電源アダプターを接続して行ってください。バッテリーのみで行うと、バッテリーが不足して、バックアップが強制的に終了してしまう場合があります。

６章１　ＤＡＩＳＹ図書ＣＤをバックアップする

ＤＡＩＳＹ図書ＣＤを、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器にバックアップすることができます。

手順	音声ガイド
1）　電源をいったん切ります。ＳＤカードまたはＵＳＢ機器を本製品にセットしてから電源を入れます。	
2）　ＤＡＩＳＹ図書ＣＤを入れます。	「ディスク、ＤＡＩＳＹ図書」
3）　ＤＡＩＳＹ図書ＣＤに複数のタイトルがある場合、バックアップするタイトルを［タイトル選択右キー］または［タイトル選択左キー］で選択します。タイトルがひとつしかない場合は自動的にそのタイトルが選択されます。	「ＤＡＩＳＹ図書○」
4）　数字の［９キー］を押します。	「バックアップ」 「４キーまたは６キーでバックアップ先メディアを選択」「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
5）　数字の［６キー］または［４キー］を押して、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器の中からバックアップ先を選び、［＃キー］を押して決定します。	「ＳＤカード」または「ＵＳＢ機器」 「決定」「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
6）［＃キー］を押して決定します。	「決定」

<ポイント>

●約２００ＭＢのＤＡＩＳＹ図書ＣＤをＳＤカードにバックアップするには、約５分ほどの時間が必要です。ＵＳＢ機器にバックアップするには、約１０分ほどの時間が必要です。ただし、ＤＡＩＳＹ図書の見出し数やＳＤカード・ＵＳＢ機器の書き込み速度によっては、バックアップに時間がかかる場合があります。

●バックアップの進捗状況を知るには、バックアップ中に [情報キー]を押してください。バックアップの進捗状況をパーセントで音声ガイドします。

●見出し数が 1000 以上のＤＡＩＳＹ図書はバックアップできません。

●ＣＤに複数のタイトルがある場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。

●タイトルの一部分のみをバックアップすることはできません。選択したタイトルのすべてがバックアップされます。

●ＳＤカード（またはＵＳＢ機器）のみが挿入されている場合は、バックアップ先メディアは自動的にＳＤカード（またはＵＳＢ機器）になり、バックアップ先メディアを選択する音声ガイドは流れません。

●バックアップ中にバックアップを中止するには、［＊キー］を押し、音声ガイドに従って操作してください。

●操作を決定する際、［＃キー］の代わりに［８キー］を使うことができます。また、キャンセルの際、［＊キー］の代わりに［２キー］を使うことができます。

●ＵＳＢ接続のカードリーダーライターにメディアを差し込む際は、１枚だけにしてください。同時に何枚も差し込まないでください。

●ＣＦカードにバックアップした場合、そのＣＦカードを弊社製品ＰＴＲ１やＰＴＲ２で再生すると、ＤＡＩＳＹ図書ではなく、音声ファイルカード（音楽）になります。ＰＴＲ１やＰＴＲ２で使用するＣＦカードにバックアップをする場合は、ＰＴＲ１やＰＴＲ２でバックアップを行うようにしてください。

６章２　音楽ＣＤをバックアップする

音楽ＣＤを、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器にバックアップすることができます。

手順	音声ガイド
1）　電源をいったん切ります。ＳＤカードまたはＵＳＢ機器を本製品にセットしてから電源を入れます。	
2）　音楽ＣＤを入れます。	「ディスク、音楽ＣＤ」
3）　数字の［９キー］を押します。	「バックアップ先メディアを選択」
4）　数字の［６キー］または［４キー］を押して、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器の中からバックアップ先を選び、［＃キー］を押して決定します。	「ＳＤカード」または「ＵＳＢ機器」 「決定」「音楽ＣＤのバックアップ音質を選択」
5）　数字の［６キー］または［４キー］を押して、 ・PCM 44.1kHz ステレオ ・MP3 256k ステレオ ・MP3 128k ステレオ の３種類の中からバックアップ音質を選び、［＃キー］を押して決定します。	「PCM 44.1kHz ステレオ」 「MP3 256k ステレオ」 「MP3 128k ステレオ」 「決定」「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
6）［＃キー］を押して決定します。	「決定」

＜ポイント＞

●演奏時間約７０分の音楽ＣＤをＳＤカードにバックアップするには、ＰＣＭステレオの場合、約１５分、MP3 256k ステレオの場合、約３０分、MP3 128k ステレオの場合、約３０分必要となります。ただし、曲数、ＳＤカードの書き込み速度によってはバックアップに時間がかかる場合があります。

●バックアップの進捗状況を知るには、バックアップ中に [情報キー]を押してください。バックアップの進捗状況をパーセントで音声ガイドします。

●トラック（曲）単位でバックアップすることはできません。アルバム全体がバックアップされます。

●ＳＤカード（またはＵＳＢ機器）のみが挿入されている場合は、バックアップ先メディアは自動的にＳＤカード（またはＵＳＢ機器）になり、バックアップ先メディアを選択する音声ガイドは流れません。

●バックアップ中にバックアップを中止するには、［＊キー］を押し、音声ガイドに従って操作してください。

●操作を決定する際、［＃キー］の代わりに［８キー］を使うことができます。また、キャンセルの際、［＊キー］の代わりに［２キー］を使うことができます。

●ＵＳＢ接続のカードリーダーライターにメディアを差し込む際は、１枚だけにしてください。同時に何枚も差し込まないでください。

●１枚のＳＤカードまたはひとつのＵＳＢ機器の中に、音楽ＣＤは最大１００枚分までバックアップが可能です。ただし、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器の空き容量が不足している場合は、それ以上バックアップすることはできません。

●本製品のバックアップ音質には、PCM 44.1kHz ステレオ、MP3 256k ステレオ、MP3 128k ステレオの３種類があります。音質が一番良いのは PCM44.1kHz ステレオで、2 番目が MP3 256k ステレオ、３番目が MP3 128k ステレオになります。なお、MP3 128k ステレオでも十分に良い音質で音楽を楽しむことができます。なお、バックアップ音質が良いほどバックアップ先に多くの容量が必要になります。

７章　使いこなし編：再生

７章１　ＳＤカードやＵＳＢ機器に保存されているタイトルを再生する

ＳＤカードまたはＵＳＢ機器に保存されている複数のＤＡＩＳＹ図書や音楽などから聞きたいものを選択して再生することができます。ひとつひとつのＤＡＩＳＹ図書を「タイトル」と呼びます。音楽だけはアルバムが複数あっても、「音楽」というひとつのタイトルとなります。

手順	音声ガイド
1）［メディア選択キー］を押します。 ＣＤ→ＳＤカード→ＵＳＢ機器→ＣＤ の順番で使用できるメディアが切り替わっていきます。目的のメディアが音声ガイドされるまで繰り返し押します。	「SD カード、DAISY 図書」「～タイトル名～」
2）目的のメディアが音声ガイドされた後、［タイトル選択右キー］を押していくと、 ＤＡＩＳＹ図書１→ＤＡＩＳＹ図書２→音楽・・・ のような順番でタイトルが切り替わっていきます。［タイトル選択左キー］を押すと逆の順番でタイトルが切り替わっていきます。	「DAISY 図書　１」、 「DAISY 図書　２」、・・・ 「音楽」、・・・
3）聞きたいタイトルが現れたら、［再生・停止キー］を押します。タイトルの再生が始まります。	

＜ポイント＞

●手順１で、［メディア選択キー］を押す代わりに、［タイトル選択右キー］と［タイトル選択左キー］を同時に押しても、ＣＤ、ＳＤカード、ＵＳＢ機器を切り替えることができます。

●アルバムや曲を選択する方法は、「前後のアルバムに移動する」58 ページ、「前後のトラックに移動する」58 を参照してください。

●ＳＤカードやＵＳＢ機器のタイトルの再生中に、ＣＤを挿入しても、自動的にＣＤのタイトルに切り替わることはありません。

●ＤＡＩＳＹ図書や音楽の数が多いと、タイトルの選択に時間がかかる場合があります。

７章２　ＳＤカードやＵＳＢ機器に保存されている音楽を聞く

ＳＤカードまたはＵＳＢ機器に複数の音楽アルバムが保存されている場合、タイトル選択右キーまたはタイトル選択左キーでの操作では「音楽」というタイトルしか音声ガイドしません。ここでは、ひとつの「音楽」というタイトルの中から、聞きたいアルバムや曲の頭出しをする方法を説明します。なお、音楽の再生・停止・早送り・巻き戻しの操作はＤＡＩＳＹ図書と同じです。詳しくは「３章２　ＤＡＩＳＹ図書を聞く」28 ページを参照してください。

音楽の移動単位

移動可能な単位を以下にまとめました。

単位	説明
アルバム	音楽ＣＤ１枚に相当するものです。
トラック	音楽の「曲」に相当するものです。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞

●［２キー］または［８キー］を押すことで、「アルバム」、「トラック」および「しおり」が音声ガイドされます。ただし、しおりが設定されていない場合は「しおり」とはガイドされず、「アルバム」と「トラック」だけがガイドされます。

●しおり単位の移動については「番号でしおりに移動する」「前後のしおりに移動する」41 ページを参照してください。

●本製品で再生できる主な音声ファイルは、ＰＣＭとＭＰ３です。

前後のアルバムに移動する

たとえば、アルバム１、２、３のように３つのアルバムがあるとしましょう。アルバム２に移動するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
1）［タイトル選択右キー］または［タイトル選択左キー］を押して「音楽」を選択します。	「音楽」
2）［２キー］または［８キー］を何回か押して、「アルバム」を選択します。	「アルバム」
3）［６キー］または［４キー］を何回か押して、「アルバム２」まで移動します。自動的に再生が始まります。	・・・ 「アルバム２」

前後のトラックに移動する

トラック３（３曲目）に移動するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
1）［２キー］または［８キー］を押して、「トラック」を選択します。	「トラック」
2）［６キー］または［４キー］を何回か押して、「トラック３」まで移動します。自動的に再生が始まります。	・・・ 「トラック３」

この方法の他に、送りキーまたは戻しキーを使う方法もあります。

手順
1）［送りキー］を押すたびに、１トラックずつ先に移動します。［戻しキー］を押すと１トラックずつ戻ります。自動的に再生が始まります。

ダイレクト移動：アルバムに移動する

アルバム３に移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［移動キー］を２回押します。	「移動先のアルバム番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
2）数字の［３キー］を押します。	「３」
3）［＃キー］を押して決定します。アルバム３の先頭から再生が始まります。	「決定」 「アルバム３」

ダイレクト移動：トラックに移動する

アルバム内のトラック５（５曲目）に直接移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［移動キー］を１回押します。	「移動先のトラック番号を入力」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでアルバムの先頭に移動」
2）数字の［５キー］を押します。	「５」
3）［＃キー］を押して決定します。トラック５から再生が始まります。	「決定」 「トラック５」

７章３　テキストファイルを聞く

テキストファイルについて

テキストファイルとは文字データから作られたファイルを表します。本製品ではテキスト形式とＨＴＭＬ形式のファイルをテキスト読み上げ音声で聞くことができます。ひとつのテキストファイルはＤＡＩＳＹ図書と同様に「タイトル」と呼びます。なお、テキストファイルの再生・停止の操作はＤＡＩＳＹ図書と同じです。

＜ポイント＞
●テキストファイルはＤＡＩＳＹ図書や音楽と同様にタイトル選択右キーまたはタイトル選択左キーで選択することができます。

移動単位について

テキストファイル内を以下のような単位で移動することができます。

種類	説明
レベル （ＨＴＭＬ形式のみ）	ＨＴＭＬファイル内にはレベル１からレベル６までの見出しが付けられています。
段落	空白の行で区切られた文です。
文	句点「。」、疑問符「？」、感嘆符「！」または改行で区切られた一文です。
しおり	ユーザーの好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞
●しおり単位の移動については「番号でしおりに移動する」「前後のしおりに移動する」41 ページを参照してください。
●読み上げ可能なファイルサイズは最大６ＭＢまでです。

早送り、巻き戻しをする

手順	音声ガイド
1）［送りキー］または［戻しキー］を押し続けます。［送りキー］を押し続けると、文を５つずつ早送りし、［戻しキー］を押し続けると５つずつ巻き戻します。［送りキー］を押し続けると、５文、１０文、１５文、２０文、２５文、３０文・・・と送られていきます。	「５文、１０文、１５文、２０文、２５文、３０文・・・」
2）再生したいところで指を離すと、自動的に再生が始まります。	「～本文～」

段落ごとに移動する

送りキーまたは戻しキーを押すことで段落ごとに移動することができます。

手順	音声ガイド
1）［送りキー］を押すたびに、１段落ずつ先に移動します。［戻しキー］を押すと１段落ずつ戻ります。	

前後の段落や文に移動する

たとえば３段落目の５つ目の文を読ませるには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［２キー］または［８キー］を何回か押して、「段落」を選択します。	「段落」
2）［６キー］を何回か押して、３つ目の段落まで移動します。［４キー］を押すと戻ります。	「～本文～」
3）［２キー］または［８キー］を何回か押して、「文」を選択します。	「文」
4）［６キー］を何回か押して、２つ目の文まで移動します。［４キー］を押すと戻ります。	「～本文～」

ダイレクト移動：特定の位置に移動する

テキストファイル内の位置をパーセントで指定して移動できます。たとえば、先頭から５０％の位置に移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［移動キー］を１回押します。	「移動先の位置をパーセントで入力」「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
2）数字の［５キー］［０キー］を押します。	「５」「０」
3）［＃キー］を押して決定します。５０％の位置の、次の文の冒頭から再生が始まります。	「決定」「５０パーセント」「～本文～」

７章４　ヘルプを聞く

本取扱説明書の内容をテキスト読み上げ音声で聞くことができます。

手順	音声ガイド
1）［０キー］を押します。ヘルプが開始されます。	「ヘルプ開始」
2）　ＤＡＩＳＹ図書の再生方法と同じ方法でヘルプを聞くことができます。（ＤＡＩＳＹ図書の再生方法は「３章２　ＤＡＩＳＹ図書を聞く」28 ページを参照してください。）	
3）　もう一度［０キー］を押すとヘルプが終了します。	「ヘルプ終了」

＜ポイント＞

●ヘルプを再生する際、テキスト読み上げ音声が「英語」になっていると正しく再生できませんので、「日本語」に設定してください。設定の方法は「テキスト読み上げ音声の選択」71 ページを参照してください。

７章５　ＳＤカードとＵＳＢ機器との間でバックアップする

本製品では以下のようなバックアップもできます。
・ＳＤカードからＵＳＢ機器にバックアップする
・ＵＳＢ機器からＳＤカードにバックアップする
ここではＳＤカードのタイトルをＵＳＢ機器にバックアップする手順を説明します。

手順	音声ガイド
1）　電源を切ります。ＳＤカードとＵＳＢ機器を本製品に接続し、電源を入れます。	
2）［メディア選択キー］を何回か押して、ＳＤカードを選択します。	「ＳＤカード」
3）［タイトル選択右キー］または［タイトル選択左キー］でバックアップするタイトルを選択します。	「～タイトル名～」
4）　数字の［９キー］を押します。	「バックアップ」 「選択中のタイトルをＵＳＢ機器のメディアへバックアップしますか？」 「シャープキーで決定、アスタリスクキーでキャンセル」
5）［＃キー］を押して決定します。	「決定」

＜ポイント＞
●ＵＳＢ機器からＳＤカードへタイトルをバックアップする場合は、手順２でＵＳＢ機器を選択します。

８章　使いこなし編：メニュー

８章１　メニューについて

本製品の様々な情報を確認したり、設定内容を変更することができます。各メニュー項目を選択する基本操作は以下の手順になります。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押します。	「メニュー」・・・
2）［６キー］または［４キー］で「再生設定」、「メディア管理」、「管理」の中から目的の項目を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「再生設定」または「メディア管理」または「管理」 「決定」・・・
3）さらに細かい項目が音声ガイドされるので、［６キー］または［４キー］で目的の項目を選択し、［＃キー］を押して決定します。	・・・ 「決定」
4）引き続き操作をする必要がある場合は、音声ガイドに従って操作します。	

＜ポイント＞

●メニュー項目によっては上記手順と異なる場合もあります。詳しくは次節以降を参照してください。

●［メニューキー］を押して様々な設定を行う際に、［＃キー］の代わりに［８キー］を押して操作を決定することができます。また、［＊キー］の代わりに［２キー］を押して操作をキャンセルすることができます。ただし、時計の設定のように数字を入力する場面では、［８キー］で決定したり、［２キー］でキャンセルしたりすることはできません。

８章２　再生設定

メニューキーを押して最初に音声ガイドされる項目が「再生設定」です。

ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルの再生設定

ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルでは、次のような再生設定ができます。

再生方法	概要
通常再生	通常の再生を行います。（工場出荷時の設定）
タイトルリピート	選択されたタイトルを繰り返し再生します。

＜設定方法＞

再生設定を「タイトルリピート」にするには以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1）［タイトル選択キー］でＤＡＩＳＹ図書またはテキストファイルを選択します。	
2）［メニューキー］を押し､［６キー］または［４キー］で「再生設定」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「再生設定」 「決定」「再生方法を選択」
3）［６キー］または［４キー］で「タイトルリピート」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「タイトルリピート」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルは、それぞれ個別の設定をすることができます。

音楽の再生設定

音楽では、次のような再生設定ができます。

再生方法	概要
通常再生	通常の再生を行います。（工場出荷時の設定）
トラックリピート	選択されたトラック（曲）を繰り返し再生します。
アルバムリピート	選択されたアルバムを繰り返し再生します。
オールアルバムリピート	全てのアルバムを繰り返し再生します。
シャッフルリピート	全てのアルバム内のトラックをシャッフルして再生します。

＜ポイント＞

●音楽ＣＤを再生する場合「オールアルバムリピート」は「アルバムリピート」になります。

＜設定方法＞

再生設定を「トラックリピート」にするには以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1）［タイトル選択キー］で音楽を選択します。	
2）［メニューキー］を押し、［６キー］または［４キー］で「再生設定」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「再生設定」 「決定」「再生方法を選択」
3）［６キー］または［４キー］で「トラックリピート」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「トラックリピート」 「決定」 「設定しました」

８章３　メディア管理

メディア、タイトル情報を聞く

選択中のメディアやタイトルに関する情報を音声ガイドします。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［６キー］または［４キー］で「メディア管理」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「メディア管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［６キー］または［４キー］で「メディア、タイトル情報」を選択し、［＃キー］を押して決定します。 メディアの種類、メディアの空き容量、メディアの使用容量、メディアの総容量、タイトル情報、タイトルの詳細な情報、タイトルの使用容量が繰り返しガイドされます。	「メディア、タイトル情報」 「決定」 「メディア情報」 ・・・
3）［＃キー］で終了します。	

＜ポイント＞
●メディアによって音声ガイドされる内容が異なります。

ＳＤカードの内容を全消去する

ＳＤカードは、全消去を行うことで新しいカードとして使用できます。全消去を行うには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1） ＳＤカードを全消去する場合は、電源を切り、ＳＤカードをセットします。	
2） 電源アダプターを接続して電源を入れます。	
3） ［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「メディア管理」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「メディア管理」 「決定」「管理項目を選択」
4） ［6キー］または［4キー］で「ＳＤカード内容全消去」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「ＳＤカード内容全消去」 「決定」 「ＳＤカード内容全消去を実行しますか？」
5） ［＃キー］を押して決定します。	「決定」・・・ 「実行しました」

＜ポイント＞

●全消去を行うとＳＤカードに記録されている内容がすべて消去されてしまいます。残しておきたい内容がある場合は、別のＵＳＢ機器などにバックアップしてから全消去を行ってください。

●ＵＳＢ機器のメディアの内容全消去はできません。

タイトル削除（アルバム削除）

ＳＤカードやＵＳＢ機器の選択中のタイトルを削除するには以下のように操作します。音楽の場合は「アルバム削除」になります。

手順	音声ガイド
1） 削除したいタイトル（アルバム）に移動します。	
2） ［メニューキー］を押し、［６キー］または［４キー］で「メディア管理」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「メディア管理」 「決定」「管理項目を選択」
3） ［６キー］または［４キー］で「タイトル削除」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「タイトル削除」または「アルバム削除」 「決定」 「選択中のタイトルを削除しますか？」
4） ［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

＜ポイント＞

●ＣＤのタイトルを削除することはできません。

●複数のタイトルを一度に削除することはできません。

●ＤＡＩＳＹ図書の一部やトラック（曲）ごとの削除はできません。

●手順１で、ＤＡＩＳＹ図書のタイトルに移動する方法は「３章４　読みたい本を選ぶ」36 ページを参照してください。

●手順１で、アルバムに移動する方法は「前後のアルバムに移動する」「ダイレクト移動：アルバムに移動する」58 ページを参照してください。

●タイトル削除を行った後、再生可能なタイトルが無い場合は、別のメディアに自動的に切り替わります。

8章4　管理

プレクストークの情報

本製品のバージョン番号とシリアル番号（製造番号）を確認できます。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「管理」を選択し、［#キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［6キー］または［4キー］で「プレクストークの情報」を選択し、［#キー］を押して決定します。 「プレクストークバージョン」「シリアル番号」が繰り返しガイドされます。	「プレクストークの情報」 「決定」 「プレクストークバージョン・・・」 「シリアル番号・・・」
3）［#キー］で終了します。	

ガイド音量の選択

音声ガイドの音量だけを調整するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「管理」を選択し、［#キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［6キー］または［4キー］で「ガイド音量の選択」を選択し、［#キー］を押して決定します。	「ガイド音量の選択」 「決定」
3）［6キー］または［4キー］で音量を調整し、［#キー］を押して決定します。	「音量○」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●ガイド音量の選択とは、ＤＡＩＳＹ図書や音楽等の再生音量に比べて、どの程度大きい（小さい）音でガイドするかを設定するものです。－５から＋５までの範囲で設定できます。ガイド音量の変更を行った後、音量キーで再生音量を増減させると、設定された範囲でガイド音量も一緒に増減します。

テキスト読み上げ音声の選択

日本語のテキストファイルを読ませる場合は「日本語、キョウコ」を、英語の場合は「US　English Samantha」を選択してください。工場出荷時の設定は「日本語、キョウコ」です。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「管理」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［6キー］または［4キー］で「テキスト読み上げ音声の選択」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「テキスト読み上げ音声の選択」 「決定」
3）［6キー］または［4キー］で「日本語、キョウコ」または「US　English　Samantha」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「日本語、キョウコ」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞
●テキスト読み上げ音声を変更すると再起動します。

待ち受け音の選択

各種操作を実行している間に流れる音楽を「待ち受け音１」「待ち受け音２」「待ち受け音なし」から選択することができます。工場出荷時は、「待ち受け音１」に設定されています。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「管理」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［6キー］または［4キー］で「待ち受け音の選択」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「待ち受け音の選択」 「決定」
3）［6キー］または［4キー］で「待ち受け音１」「待ち受け音２」「待ち受け音なし」から選択し、［＃キー］を押して決定します。	「待ち受け音１」 「決定」 「設定しました」

時計設定

たとえば、本製品の時計を２００９年7月３０日午後３時１０分に設定する場合には以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「管理」を選択し、［#キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［6キー］または［4キー］で「時計設定」を選択し、［#キー］を押して決定します。	「時計設定」 「決定」 「年を入力」
3）［2キー］、［0キー］、［0キー］、［9キー］と押し、［#キー］を押して決定します。	「2」「0」「0」「9」 「決定」「月を入力」
4）［7キー］を押し、［#キー］を押して決定します。	「7」 「決定」「日を入力」
5）［3キー］、［0キー］を押し、［#キー］を押して決定します。	「3」「0」 「決定」「時刻を４桁で入力」 「送りキーまたは戻しキーで午前午後を変更」
6）［送りキー］または［戻しキー］で「午後」を選択します。	「午後」
7）［3キー］、［1キー］、［0キー］と押し、［#キー］を押して決定します。	「3」「1」「0」「決定」 「午後３時１０分、２００９年7月３０日」 「設定しました」

＜ポイント＞

●年、月、日など音声ガイドの内容が合っていれば、テンキーでの入力は必要ありません。［#キー］を押して決定してください。

●時刻の入力の際、１５：１０のように入力すると、午後３：１０に設定されます。

●途中で［＊キー］を押すとひとつ前の手順に戻ります。時計設定を中止する場合は［＊キー］を長く押すか［メニューキー］を押すとキャンセルできます。

●設定後に現在の日時を再確認するには、［情報キー］を長く押してください。現在の日時が音声ガイドされます。

●出荷時および長期間使用しなかった時に、時計設定が実際の日時と異なっている場合があります。正しい日時に設定しなおしてください。

テキスト読み上げの設定

テキストファイルを読み上げる際に、音程を高めに読むか、低めに読むかを設定することができます。音程を高くするにはピッチをプラス側に、音程を低くするにはピッチをマイナス側に設定してください。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「管理」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［6キー］または［4キー］で「テキスト読み上げの設定」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「テキスト読み上げの設定」 「決定」「ピッチ設定」
3）［6キー］または［4キー］で「ピッチ」の長さを－5から＋5の範囲で選択し、［＃キー］を押して決定します。	「ピッチ○」 「決定」 「設定しました」

設定を初期化

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す場合は以下のように操作してください。

手順	音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［6キー］または［4キー］で「管理」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」・・・ 「管理」 「決定」「管理項目を選択」
2）［6キー］または［4キー］で「設定を初期化」を選択し、［＃キー］を押して決定します。	「設定を初期化」 「決定」 「設定の初期化を実行しますか。」
3）［＃キー］を押して決定します。 設定を初期化すると自動的に再起動します。	「決定」「実行しました」 「再起動します」

＜ポイント＞

●設定を初期化すると、しおりは消えてしまいます。

●初期化すると以下のような状態に戻ります。

・再生音量：音量１３

・再生スピード、再生トーン、ガイド音量：標準

・再生設定：通常再生

・テキスト読み上げ音声：日本語

・待ち受け音：待ち受け音１

・テキスト読み上げの設定：ピッチ標準

９章　バッテリーについて

９章１　バッテリーの交換方法

＜警告＞
●バッテリーは、異なるタイプのものと交換すると、破裂・火災の危険があります。必ず指定されたバッテリーをご使用ください。
●バッテリーを誤って落下させると故障の原因になります。取扱いには十分に注意してください。

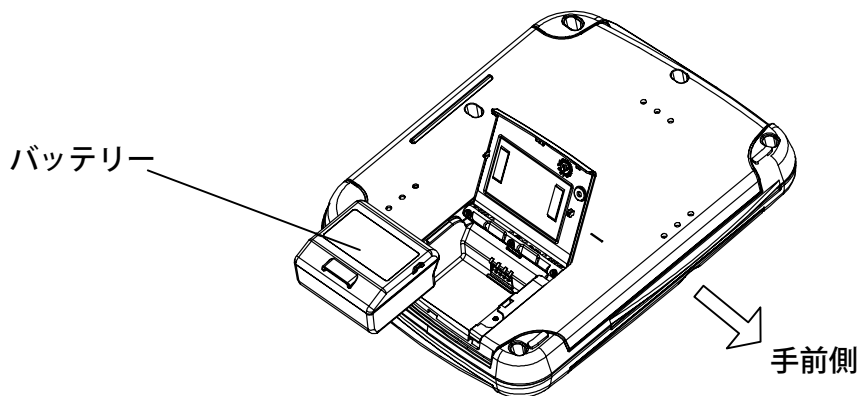
＜注意＞
●本製品は安全上の理由によりバッテリー蓋をネジ止めしています。バッテリーを交換する際は、ネジをなくさないように注意してください。

以下の手順にしたがってバッテリーを交換します。

手順	
1）	電源を切り、電源アダプターを外します。
2）	バッテリーは底面から取り出します。まず底面を向くように本体を裏返し、机やテーブルなどの上に、ゆっくりと置いてください。ＣＤ挿入口が手前になるように置いてください。
3）	底面の左下にバッテリー蓋を固定するネジが止められています。プラスのドライバーでネジを外してください。取り外したネジはなくさないように注意してください。
4）	底面中央よりやや左側に３本の線があります。その線に指を置いて左方向に少しずらします。すると蓋が左に動き、本体から少しはみ出した状態になります。はみ出した左端の部分を上に持ちあげると蓋が開きます。
5）	バッテリーの上面の左側に突起があるので、そこに指をかけて持ち上げると簡単にバッテリーを取り出すことができます。
6）	新しいバッテリーを準備します。バッテリーには幅１センチほどの出っ張りが１箇所だけあります。その出っ張りがバッテリー上面の左側に来るように手で持ちます。
7）	バッテリーを入れる穴に、バッテリーを垂直に降ろすようにして入れます。バッテリーが引っ掛かって上手く入らなかった場合は、バッテリーの左側をほんの少しだけ上げた状態で真っ直ぐに降ろすようにして入れます。
8）	バッテリー蓋を閉じ、先ほど取り外したネジで蓋を固定します。

＜ポイント＞

●バッテリー交換後に初めて電源を入れる際には、必ず電源アダプターを接続してから、電源を入れてください。

●バッテリー交換後に初めて電源を入れた際には、本製品が起動するまでに３０秒ほど時間がかかります。

９章２　バッテリーで動作させる

本製品は電源アダプターを接続して使用するのが一般的ですが、電源アダプターをはずして、バッテリーのみで使用することもできます。

充電時間について

電源アダプターをはずす前に、十分にバッテリーを充電してください。本製品の電源の ON/OFF にかかわらず、電源アダプターを接続すると充電が始まります。バッテリーが満充電になるまで約４時間かかります。

動作時間について

電源アダプターをはずし、バッテリーのみで動作させる場合、ＤＡＩＳＹ図書ＣＤを再生できる時間は約５時間、音楽ＣＤを再生できる時間は約２時間です。ただし、動作時間は、使用条件によって異なります。

バッテリーの残量の確認方法

バッテリーが「あと何%残っているか」を確認するには、以下のように行います。

手順	音声ガイド
1）　電源アダプターが接続されていない状態で、[情報キー]を押すと、バッテリーの残量が音声でガイドされます。	「バッテリー　レベル」 「○○パーセント」
2）　［＃キー］または［＊キー］を押すと音声ガイドが終了します。	

自動電源ＯＦＦについて

バッテリーのみで使用している際に、停止状態で１５分間経過すると、節電のため電源が自動的に切れます。その際「自動電源ＯＦＦ」と音声ガイドがあります。
また、バッテリーレベルが低下したときには、「バッテリー不足です。残り１分で電源ＯＦＦ」と音声ガイドがあり、１分後に自動的に電源が切れます。

９章３　バッテリーに関する注意

バッテリーの寿命とリサイクル

使用回数を重ね、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命です。新しいものと交換してください。当バッテリーは本製品独自のものですので、家電量販店などでは販売していません。本製品を購入した販売店でご購入ください。

廃棄の際は、使用済みのバッテリーの端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店に持参し、廃棄してください。

バッテリーの充電について

本製品を初めてご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。

フル充電には約４時間かかります。（充電時間は、使用条件によって異なります。）充電しながら、使用することができます。はじめて電源を接続する時や、１ヶ月以上使用しなかったときは、内部の時計ＩＣ用バッテリーの充電のため、電源アダプターを接続して電源を入れた状態で２４時間以上通電してください。通電中も使用することができます。

長期間使用しない場合について

長期間使用しない場合でも、バッテリーは時間の経過とともに必ず劣化します。また、保管状態によって劣化の度合いが異なってきますので、本製品を定期的にご使用することをお薦めいたします。

電源を切った状態でのバッテリーの消耗

電源アダプターを接続せずに電源を切ったまま放置すると、約１週間でバッテリー残量がなくなります。長期間放置した後に電源を入れても起動しない場合は、電源アダプターを接続してから電源を入れてください。

１０章　メニュー階層一覧

ここでは、メニューの階層を一覧形式で紹介します。
挿入されているメディア、接続されている機器などの条件により、選択できるメニューが変わります。

「メニューを選択」
├→┬「再生設定」（ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルの場合）
↑　↓　├→┬「通常再生」
｜　｜　└←┴「タイトルリピート」
｜　｜
｜　├「再生設定」（音楽の場合）
｜　｜　├→┬「通常再生」
↑　↓　｜　├「トラックリピート」
｜　｜　｜　├「アルバムリピート」
｜　｜　↑　├「オールアルバムリピート」
｜　｜　└←┴「シャッフルリピート」
｜　｜
｜　├「メディア管理」
↑　↓　├→┬「メディア、タイトル情報」
｜　｜　｜　├「ＳＤカード内容全消去」
｜　｜　└←┴「タイトル(アルバム）削除」
↑　｜
└←┴「管理」
　　　├→┬「プレクストークの情報」
　　　｜　├「ガイド音量の選択」
　　　｜　├「テキスト読み上げ音声の選択」
　　　｜　├「待ち受け音の選択」
　　　｜　├「時計設定」
　　　↑　├「テキスト読み上げの設定」
　　　└←┴「設定を初期化」

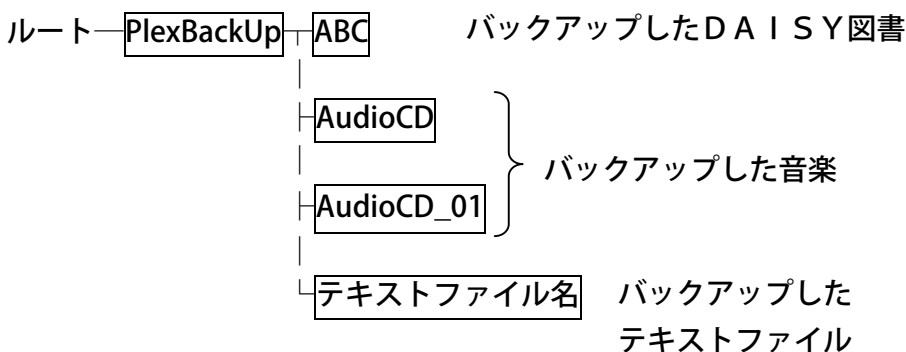
１１章　付録

１１章１　パソコンでＳＤカードやＵＳＢ機器にデータを転送して本製品で使用する際の注意

ＳＤカードやＵＳＢ機器に保存できるファイルとフォルダの数について

ひとつのフォルダに保存するファイルは１０２４個以内にしてください。また、ひとつのメディア内に作成するフォルダはルートフォルダを含め８階層１０２４個以内にしてください。なお、フォルダ数やファイル数が多いと、タイトルの読み出しに時間がかかります。

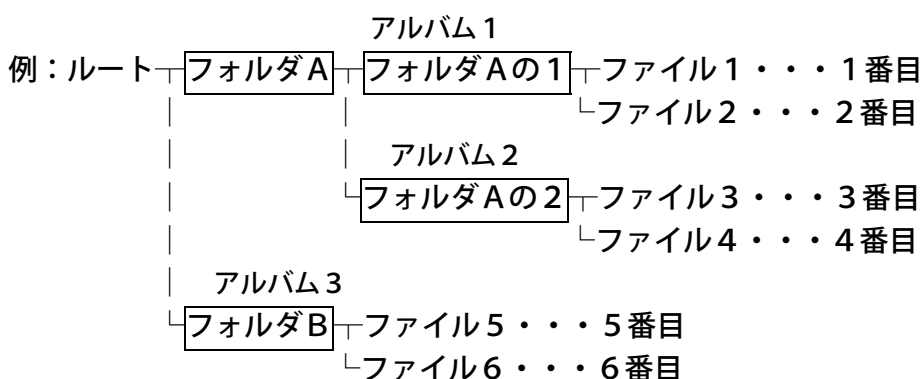
１１章２　バックアップで自動的に作られるフォルダ名について

空のＳＤカードやＵＳＢメディアにバックアップを行うと、ＳＤカードやＵＳＢメディアのルートフォルダに「PlexBackUp」という名前のフォルダが作られます。
ＤＡＩＳＹ図書の場合は、「PlexBackUp」の下にバックアップ元と同じ名前のフォルダ名でタイトルがバックアップされます。（下の図では「ＡＢＣ」という名前のフォルダになっています。）
音楽ＣＤの場合は、「PlexBackUp」の下に「AudioCD」という名前のフォルダが作られ、その中にバックアップされます。２枚目、３枚目の音楽ＣＤの場合は、それぞれ「AudioCD_01」、「AudioCD_02」という名前のフォルダ名でバックアップされます。
テキストファイルの場合は、「PlexBackUp」の下にバックアップ元のテキストファイルと同名のファイルが作られます。

１１章３　音声ファイルの連続再生の順序

ひとつのフォルダ内での連続再生の順序

ひとつのフォルダ内ではファイル名の順（ａｂｃ順）に再生されます。ただし、フォルダ内に「プレイリスト」が存在する場合は、プレイリストに記された再生順序で再生されます。プレイリストは、ファイルの拡張子を「m3u」とし、音声ファイル名を再生したい順番に１行ずつ区切って記述したものです。

フォルダが複数ある場合の連続再生の順序

たとえば、パソコンで以下の例のようにフォルダを作って音声ファイルを保存した場合、音声ファイルの連続再生の順序は以下のようになります。

＜ポイント＞

●基本的にフォルダがアルバムとなります。ただし、フォルダ内に音声ファイルが無い場合は、アルバムとはなりません。上の例では、フォルダＡの１がアルバム１、Ａの２がアルバム２、フォルダＢがアルバム３となります。フォルダＡはアルバムではありません。

１２章　用語解説

本書で使われている用語および関連する用語を解説します。

用語	解説
ＣＤ	音楽やデータを記録するためのメディアの一種です。コンパクトディスク（Compact Disc）を省略してＣＤと呼びます。レーザー光線を当ててデータを読み取ります。
ＤＡＩＳＹ図書	ＤＡＩＳＹ（Digital Accessible Information System）は、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために、カセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、ＤＡＩＳＹコンソーシアム（本部スイス）により開発と維持が行なわれている情報システムを表しています。
ＭＰ３	「MPEG Audio Layer-3」の略称で、高圧縮率で高品質な音声圧縮技術、もしくはそれを使って圧縮された音声データのことです。ＣＤ品質の音声データをＭＰ３(128kbps)に変換すると、多少音質は低下しますが、約１０分の１のサイズに圧縮することができます。
ＰＣＭ	音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する形式の一種です。音楽ＣＤなどに用いられています。非圧縮のため音質は良いのですが、ファイルサイズが大きくなってしまいます。
ＳＤカード	フラッシュメモリの一種です。切手ほどのサイズに加え、厚さが１mmほどしかなく、そのコンパクトさが特徴です。 「ＳＤカード」は「ＳＤメモリカード」の略称です。
ＳＤＨＣカード	ＳＤカードの一種で、その容量の大きさが特徴です。寸法はＳＤカードと同じです。本製品はＳＤカードとＳＤＨＣカードの両方に対応しています。
ＵＳＢ	ＵＳＢ（Universal Serial Bus）は、パソコンの周辺装置を接続するための規格のひとつです。この規格のケーブルで接続された機器をＵＳＢ機器と呼びます。本製品で扱えるＵＳＢ機器は、ＵＳＢフラッシュメモリ、ＣＦカードなどのＵＳＢカードリーダーで読み込めるカード類、ＵＳＢ外付けハードディスクになります。

用語	解説
アルバム	音楽ＣＤ１枚に相当するものです。
グループ	グループとは、セクション内に付ける区切りのことです。
タイトル	本製品では、ひとつひとつのＤＡＩＳＹ図書やテキストファイルを「タイトル」と呼びます。音楽だけはアルバムが複数あっても、「音楽」というひとつのタイトルとして扱われます。
特殊ページ	特殊ページは、図書の途中や最後に付けられた特別なページのことです。図表や付録などに付けられます。［２キー］または［８キー］で「ページ」を選択し、［６キー］または［４キー］で移動できます。
トラック	ひとつの音声ファイルを「トラック」と呼びます。音楽の１曲に相当します。
ファイル	文字や音楽などのデータをパソコンやメモリカードなどに格納する際の、データのかたまりを表します。
フレーズ	音声データは、息継ぎなどで一定時間以上無音になった箇所で区切られています。その無音から次の無音までのひとかたまりの音声を「フレーズ」と呼びます。ＤＡＩＳＹ図書では、息継ぎをせずに読めるくらいの短い文がひとつのフレーズになります。
プレイリスト	プレイリストは、ファイルの拡張子名を「m3u」とし、音声ファイル名を再生したい順番に１行ずつ区切って記述したものです。
前付けページ	前付けページは、図書の最初に本文の前に付けられたページのことです。［２キー］または［８キー］で「ページ」を選択し、［６キー］または［４キー］で移動できます。
マルチタイトル	１枚のＣＤやカードの中に複数のタイトルが収録されている録音図書のことです。
見出し	ＤＡＩＳＹ図書で頭出しされる冒頭部分を「見出し」と呼びます。
メディア	情報を記録する媒体を「メディア」と呼びます。本製品で扱えるメディアは、ＣＤ、ＳＤカード、ＵＳＢ機器です。
レベル	ＤＡＩＳＹ図書やＨＴＭＬ形式のテキストファイルの頭出しをする時に使用する移動単位のひとつです。ＤＡＩＳＹ図書には、レベル１が必ずあり、図書によっては最大６までのレベルが設定されている場合があります。

１３章　故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、下記の方法で症状を確かめてください。

１３章１　症状と対応のしかた

症状と対応のしかた（全般）

症状	原因	対応のしかた
電源が入らない。	バッテリーが切れている。または、バッテリー残量が少なくなっている。	電源アダプターを接続して充電してください。
電源が入らない。	バッテリーが外されている。	バッテリーを本体に入れてください。あるいは、電源アダプターを接続してください。
電源が入らない。	音量が「０」になっていて、電源 ON/OFF の確認ができない。	音量キーで音量を上げ、電源 ON/OFF を確認してください。
電源が入らない。	ヘッドホンプラグが差し込まれていて、電源 ON/OFF の確認ができない。	ヘッドホンプラグを抜いて、電源 ON/OFF を確認してください。
電源が入ってもすぐに切れてしまう。	バッテリー残量が少なくなっている。	電源アダプターを接続して充電してください。

症状	原因	対応のしかた
電源が切れない。（全てのキーが反応しなくなった。）	キーロックが有効になっている。	キーロックを確認し、キーロックが有効になっていたら無効にしてください。
	何らかの原因により操作不能の状態に陥っている。	電源キーとお休みタイマーキーを、同時に１０秒以上押し続けると電源が切れますので、再度電源を入れて状態を確認してください。（起動するのに３０秒ほど時間がかかります。）
音声ガイドが出ない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	ヘッドホンジャックが差し込まれている。	ヘッドホンジャックを抜いてください。
	音量が「0」になっている。	音量キーで音量を上げてください。
CD を入れることができない。	電源が入っていない。	電源を入れてから CD を入れてください。
	既に CD が入っている。	CD を取り出ししてください。
CD を取り出すことができない。	電源が入っていない。	電源が入っているか確認してください。
CD を再生できない。	記録面が下になっていない。	CD を裏返して入れ直してください。裏返して入れても「再生できないディスクです」とガイドされたら、その CD には何も記録されていません。
SD カードを入れることができない。	SD カードを差し込む向きが間違っている。	SD カードを正しい方向で差し込んでください。
	既に別の SD カードが入っている。	入っている SD カードを取り出してください。
	SD カード以外のカードを入れようとしている。	SD カード以外のカードを本製品のカードスロットに入れることはできません。
SD カードを取り出すことができない。	無理に引っ張って取り出そうとしている。	SD カードを奥に押し込むと、数ミリほど出て来ますので、摘んで取り出してください。
USB 機器を接続できない。	USB ケーブルを差し込む向きが間違っている。	上下を逆にして入れ直してください。

症状	原因	対応のしかた
SD カードが再生できない。	SD カードが入っていない。	SD カードを入れてください。
	SD カードを差し込む向きが間違っている。または、しっかりと差し込まれていない。	SD カードを正しい方向に、奥までしっかりと差し込んでください。
	空の SD カードが入っている。	DAISY 図書などが記録されている SD カードを入れてください。
	本製品が対応していない方式で書き込まれた SD カードが入っている。	再生できません。そのカードを本製品で使う場合はカード内容全消去を行ってから使用してください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されます。
	SD カードが本製品に対応していない。	動作確認済 SD カードを使用してください。
SD カードにバックアップできない。	SD カードが書き込み禁止になっている。	書き込み禁止を解除してください。
	SD カードの空き容量が足りない。	十分な容量のある SD カードに交換してください。
しおりを設定できない。	現在の位置が先頭あるいは最後である。	現在の位置が先頭あるいは最後の場合、しおりを設定することができません。最初から少し再生した位置、または最後から少し戻した位置にしおりを設定してください。

音声ガイドと対応のしかた（再生）

音声ガイド	原因	対応のしかた
「タイトルが選ばれていません」	SD カードやＵＳＢ機器に何も記録されていない。	DAISY 図書などが記録されている SD カードを入れるか、ＵＳＢ機器を接続してください。
	SD カード内容全消去を行った。	別の SD カードを入れるか、ＵＳＢ機器を接続してください。
「読み込みエラー」	本製品が対応していない方式でフォーマットされたメディアである。	カード内容全消去を行ってから使用してください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されます。

音声ガイドと対応のしかた（バックアップ）

音声ガイド	原因	対応のしかた
「SD カードがロックされています」	バックアップ先の SD カードが書き込み禁止になっている。	SD カードの書き込み禁止を解除してください。
「メディアの空き容量が不足しています」	バックアップ先のメディアの空き容量が足りない。	十分な容量のあるメディアに交換してください。

音声ガイドと対応のしかた（その他）

音声ガイド	原因	対応のしかた
「アダプター異常です」	電源アダプターに異常が起きた可能性がある。	「アダプター異常です」という音声ガイドの後、自動的に電源が切れます。電源を入れ、再び「アダプター異常です」という音声ガイドがある場合には、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。
「バッテリー異常です」	バッテリーに異常が起きた可能性がある。	バッテリーを交換してください。
	仕様に定められた範囲外の高温・低温環境下で使用された。	仕様に定められた範囲内の温度環境下で使用してください。

１３章２　よくある質問 Ｑ＆Ａ

質問	答え
DAISY 図書をバックアップする時に音質などを設定する必要がありますか？	設定の必要はありません。DAISY 図書の音声は元のデータと同じ音質でバックアップされます。
複数のタイトルを一度にバックアップできますか？	できません。ひとつずつタイトルを選択してバックアップしてください。
しばらく使わずにいたらバッテリーが減っていたのですが、これは故障ですか？	故障ではありません。本製品は使わない場合でも少しずつ電力を消費します。
DAISY 図書をバックアップした際、バックアップした順番にタイトルが並んでくれないのですが、タイトルを並びかえるにはどうしたら良いのですか？	本製品は基本的にはフォルダ名で再生順を決める仕様になっています。パソコンでフォルダ名を ABC 順（辞書順）に変更してください。ただし、名前順に再生されない場合もあります。
弊社製品 PTR1 や PTR2 で記録したＣＦカードを再生することはできますか？	カードリーダーにＣＦカードをセットして USB で接続すると、本製品でＣＦカードの内容を再生することが可能です。ただし、カードリーダーやＣＦカードの種類によっては本製品で使えない場合があります。

１４章　仕様

注意

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

・時間に関する数値はすべておおまかな数値です。

・充電時間、使用時間は、周囲の温度や使用条件によって異なります。

全般的な仕様

項目	仕様
CD ローディング方式	スロットイン
対応 CD	12cm　CD/CD-R/CD-RW（円形のみ）
SD カード挿入口	SD／SDHC 専用
再生可能 コンテンツ	DAISY2.0、DAISY2.02、 ANSI/NISO Z39.86/DAISY3.0 規格準拠の DAISY 図書、MP3、 AMR-WB+、Ogg Vorbis、WAVE(PCM)、CD-DA
DAISY 図書の再生可能 音声ファイル	MP3、AMR-WB+、DAISY ADPCM2、PCM
音声出力	内蔵スピーカー（モノラル） ヘッドホン出力端子（ステレオ）
外部インターフェイス	USB 2.0
時計精度	月差　±約 60 秒
電源アダプター	AC 100 V～240 V、50／60 Hz
寸法	縦 170 mm、横 219 mm、厚さ 56 mm
重量	約 1200g（簡単カバー装着時 約 1350g）
消費電力(最大)	２５W
動作温度／湿度	5℃～40℃ ／ 20～80% ただし結露しないこと

オーディオ特性

項目	特性	
ヘッドホン 出力端子 （ライン出力）	適合インピーダンス	32Ω不平衡
	ジャック	直径 3.5mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
内蔵スピーカー	出力インピーダンス	４Ω
	出力	2.0W

主要な機能

項目	仕様
音声ガイド	操作を音声でガイド キー説明モードでのキー説明 メニュー説明 情報キーを押した時に情報をガイド
検索機能	見出し（レベル１～６）、グループ、ページ、フレーズ、しおり、アルバム、トラック、レベル、段落、文
再生音量調整	０～２５
ガイド音量調整	－５～＋５
再生スピード調整	－２～＋８（１１段階）
トーン調整	－６～＋６（１３段階）
メモリ機能	しおり　最大 10,000 個

バッテリー

項目	仕様
種類	Ni-MH
寸法	５４mmｘ５７mmｘ２９mm
容量	１８００ｍＡｈ
充電時間	約４時間
使用可能時間	DAISY 図書 CD 再生：約５時間
	音楽 CD 再生：約２時間
	DAISY 図書 SD カード再生：約８時間

１５章　動作確認済メディアおよびオプション品

本製品に同梱されている「動作確認済品一覧」に、動作確認済メディア及びオプション品に関する記載がありますので、そちらをご覧ください。

また、最新の情報は、プレクストークのホームページ
ｈｔｔｐ：／／www．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／
をご覧になるか、または、プレクストークお問い合わせ窓口までご連絡ください。

１６章　保証について

シナノケンシ株式会社は、本製品のお買い上げ日から１年間（以下「保証期間」といいます）に本製品に不具合が認められた場合には、本製品が添付の取扱説明書に従ってご使用されている場合に限り、不具合の内容や程度等を考慮して、無償にて修理あるいは交換などの対応をいたします。但し、次のような場合は、保証期間を問わず、保証の対象にはなりません。あらかじめご了承ください。

- 取扱説明書に記載された警告、注意事項その他使用条件・方法と異なる使用をした場合。
- バッテリー、電源アダプターなど、付属品以外のものを使用して破損した場合。
- フロントパネル等の外面の損傷など。
- 不具合の原因が不適当と思われるご使用方法である場合。
- 不具合の原因が落下等の過大な衝撃である場合。
- 不具合の原因が部品等の自然劣化・消耗である場合。
- 不具合の原因が落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変である場合。
- 不具合の原因が光ピックアップ等の部品等の自然劣化・消耗の場合。
- バッテリーの寿命による動作不良、停止。
- 不具合の原因が本製品に接続した他の機器である場合。
- 弊社又は弊社が指定した者以外の者(個人、事業者を含みます)により改造、修理された場合。
- 本製品を第三者に譲渡した場合。
- 本製品より取り外した部品の修理。
- 修理等のご依頼の際に保証書のご提示がない場合。
- 保証書に必要事項の記載がない場合、または保証書の文言が書き換えられている場合。
- 本製品を日本国外で使用する場合。

弊社は、いかなる場合においても、お客様の逸失利益、特別損害、付随的損害又はその他の結果的損害について、一切の責任を負うものではありません。また、弊社の責に帰すべき理由により、お客様に損害が発生した場合であっても、弊社は直接かつ通常の損害についてのみ補償し、その金額は、本製品の購入価格を上限とさせていただきます。

メディア内のデータについて

ＣＤ・ＳＤカード・ＵＳＢメディアに記録されたデータの破損・消失については、弊社は一切の責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。

１７章　お問い合わせについて

本製品を操作している時にトラブルが発生した場合は、まず「１３章　故障かなと思ったら」83 ページを参考にしながら対処してください。それでも、解決できない場合は、弊社までお問い合わせください。

お問合せ先

〒386-0498　長野県上田市上丸子 1078

シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口

電話：０５７０—０６４１７７

なお、IP 電話、光電話をご利用の方は０２６８－４３－８１５１に御連絡ください。

月～金　9:３０～１2:0０、１3:0０～１7:0０

土・日・祝祭日は休業

ファックスや電子メールは常時受け付けております。

ファックス　０２６８－４２－２９２３

電子メール　ｐｌｅｘｔａｌｋ@ｓｋｃｊ．ｃｏ．ｊｐ

ホームページ　ｈｔｔｐ：／／www．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／

プレクストークホームページについて

プレクストークホームページでは、よくある質問やプレクストーク製品に関する最新の情報を提供しております。プレクストーク専用ホームページ

ｈｔｔｐ：／／www．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／

をご利用ください。

索引

お問い合わせ先

〒３８６－０４９８
長野県上田市上丸子１０７８
シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口
電話　０５７０－０６４１７７
なお、IP 電話、光電話をご利用の方は０２６８－４３－８１５１に御連絡ください。
月～金　９：３０～１２：００　１３：００～１７：００
土・日・祝祭日は休業

ファックスや電子メールは、常時受け付けております。
ファックス　０２６８－４２－２９２３
電子メール　ｐｌｅｘｔａｌｋ＠ｓｋｃｊ．ｃｏ．ｊｐ
ホームページ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／

2010/4　127-3989901